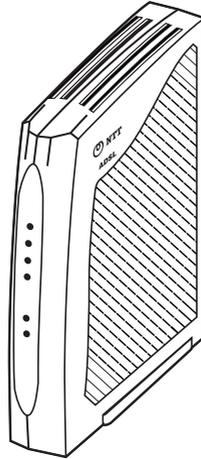


NTT

ADSLモデム－SVⅡ 取扱説明書

このたびは、ADSLモデム－SVⅡをご利用いただきまして、まことにありがとうございます。

- ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、内容を理解してからお使いください。
- お読みになったあとも、本商品のそばなどいつも手もとに置いてお使いください。



ご使用にあたってのお願い

本商品は、情報処理装置など電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。本商品は家庭環境で使用することを目的としていますが、本商品がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

- ご使用の際は取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
- 本商品（取扱説明書、ソフトウェアを含む）は日本国内向け仕様であり、外国の規格などには準拠していません。また海外で保守サービスおよび技術サービスは行っていません。国内で使用する場合でも、日本語環境によるご利用のみのサービスとなっております。This product is designed for only use in Japan and we are not offering maintenance service and technical service of this product in any foreign country. It works properly in only Japanese Operating System.
- 本商品（ソフトウェア含む）は、外国為替および外国貿易管理法に定める輸出規制品に該当するため、日本国外に持ち出す場合は同法による許可が必要です。
- 本商品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因によって、通信などの機会を逸したために生じた損害や万一、本商品に登録された情報内容が消失してしまうことなどの純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。本商品に登録された情報内容は、別にメモをとるなどして保管くださるようお願いいたします。
- 本商品を設置するための配線工事および修理には、工事担任者資格を必要とします。無資格者の工事は、違法となり、また事故のもととなりますので絶対におやめください。
- 本商品を分解したり改造したりすることは絶対に行わないでください。
- 本書に、他社商品の記載がある場合、これは参考を目的としたものであり、記載商品の使用を強制するものではありません。
- 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、当社のサービス取扱所へお申し付けください。
- この取扱説明書、ハードウェア、ソフトウェア、および外観の内容について将来予告なしに変更することがあります。
- 本商品の電話機ポートは、加入電話の仕様とは完全に一致していないため、接続される通信機器によっては、正常に作動しないことがあります。

本商品に搭載されているソフトウェアの解析（逆コンパイル、逆アセンブル、リバースエンジニアリングなど）、コピー、転売、改造を行うことを禁止します。

*Microsoft®、Windows®は、米国Microsoft® Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

*Windows®の正式名称は、Microsoft® Windows® Operating System です。

*Windows® Me は、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system の略です。

*Windows® 98SE は、Microsoft® Windows® 98 Second Edition operating system の略です。

*Windows® XP は、Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system およびMicrosoft® Windows® XP Professional operating system の略です。

*Windows® 2000 は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system の略です。

本書では、Windows® 98 と Windows® 98SE を含めて、Windows 98 と表記しています

Macintosh®, Mac®, Mac® OS は、米国 Apple Computer, Inc. の米国およびその他の国における登録商標です。

Netscape®, Netscape Navigator® および Netscape® Communicator は、米国 Netscape® Communications Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

Ethernet®は米国 XEROX 社の登録商標です。

Acrobat® Reader, Adobe Reader® 6.0 は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

JavaScript®は、米国 Sun Microsystems, Inc. の米国およびその他の国における登録商標です。

VxWorks®は米国 Wind River Systems, Inc. の登録商標です。

その他、本取扱説明書に記載されている会社名・商品名は各社の商標または登録商標です。

®マークおよび™表記については本文中に明記しません。

This product includes software developed by the Apache Group for use in the Apache HTTP server project (<http://www.apache.org/>).

Copyright (C) 1993-2002 by Darren Reed.

安全にお使いいただくために必ずお読みください

この取扱説明書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。

その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。本書を紛失または損傷した時は、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店でお求めください。

本書中のマーク説明

	警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
	お願い	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかつたり、機能停止を招く内容を示しています。
	お知らせ	この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示しています。

お使いになる前に（設置環境）



警告

- 本商品のそばに花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬用品や水の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となることがあります。
- ふろ場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは設置および使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 水のかかる場所で使用したり、水に濡らすなどして使用しないでください。漏電して、火災・感電の原因となることがあります。
- テーブルタップや分岐電源コンセント、分岐ソケットを使用した、タコ足配線はしないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 直射日光の当たるところや、ストーブ、ヒーターなどの発熱器のそばなど、温度の高いところに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。
- 調理台のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所、鉄粉や有毒ガスが発生する場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

お使いの時



警告

- 万一、煙が出ている、へんな臭いがあるなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから引き抜いて、煙が出なくなるのを確認して、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。
- 万一、本商品を落としたり、キャビネットを破損した場合は、すぐに電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから引き抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。
- 万一、内部に水などが入ったり、本商品を濡らした場合は、すぐに電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから引き抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。
- 本商品の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの、異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、すぐに電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから引き抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- 異常音がしたり、キャビネットが熱くなっている状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから引き抜いて、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。
- AC100Vの家庭用電源以外では、絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 電源コードが傷んだ（芯線の露出・断線など）状態のまま使用すると火災・感電の原因となることがあります。すぐに電源アダプタ（電源プラグ）をコンセントから引き抜いて、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。
- 差込口が2つ以上ある壁の電源コンセントに他の電気製品の電源アダプタ（電源プラグ）を差し込む場合は、合計の電流値が電源コンセントの最大値を超えないように注意してください。
- 濡れた手で本商品を操作したり、接続しないでください。感電の原因となることがあります。
- 電源アダプタは必ず付属のものを使用し、それ以外のものは絶対にお使いにならないでください。火災、感電の原因となることがあります。
- 電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセント（AC100V）に確実に差し込んでください。電源アダプタ（電源プラグ）の刃に金属などが触れると、火災・感電の原因となることがあります。
- 電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから引き抜く時は、必ず電源アダプタ（電源プラグ）の本体を持って引き抜いてください。電源アダプタコードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
- 電源アダプタは、ほこりが付着していないことを確認してから電源コンセントに差し込んでください。ほこりにより火災・感電の原因となることがあります。また、半年から1年に1回は、電源アダプタを点検してください。なお点検は当社サービス取扱所にご相談ください。
- お近くに雷が発生したときは、電源アダプタをコンセントから引き抜いてご使用を控えてください。雷によっては、火災・感電の原因となることがあります。

- 本商品の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと本商品の内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。次のような使い方はしないでください。
 - ・じゅうたんやふとんの上に置く。 ・ テーブルクロスなどをかける。
 - ・毛布やふとんをかぶせる。 ・ 横置きにする。
 - ・本棚、タンスの中、押入の中など風通しの悪い場所に置く。
- 電源コードには、延長コードは使わないでください。火災の原因となることがあります。

その他



警告

- 本商品や電源アダプタを分解・改造したりしないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 本商品のキャビネットは外さないでください。感電の原因となることがあります。キャビネットを開けられた場合は、本商品の保証対象外といたします。指定以外の内部の点検・調整・清掃・修理は、当社のサービス取扱所にご連絡ください。
- 電源アダプタコードに傷をつけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したりすると電源アダプタコードが破損し、火災・感電の原因となることがあります。電源アダプタコードが傷んだら、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。
- 本商品に水が入ったりしないよう、また濡らさないようご注意ください。漏電して、火災・感電の原因となります。
- 付属の電源アダプタを本商品以外には使用しないでください。火災、感電の原因となることがあります。
- 本商品を移動させる場合は、電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから引き抜き、電話機コードを差込口から引き抜いて、外部の接続線を外したことを確認のうえ、行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

お使いになる前に（設置環境）



注意

- ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。また、本商品の上にものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。
- 振動・衝撃の多い場所に置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。
- 本商品の前後左右3cm、上3cm には、壁や物がない場所に縦置きで設置してください。換気が悪くなると本体内部の温度が上り、故障の原因になることがあります。
- 屋外には設置しないでください。屋外に設置した場合の動作保証はいたしません。
- 温度5℃～40℃・湿度5%～85%で、結露しない場所に設置してください。温度や湿度がこの範囲を越えたり、結露が発生すると故障の原因になります。
結露とは、空気中の水蒸気が金属板の表面などに附着し、水滴となる現象です。本商品を寒い場所から急に暖かい場所に移動させたような時には、本体内部に結露が発生し、故障の原因となります。万一結露した場合は、起動しない状態で放置しておき、完全に乾燥してから電源を入れてください。
- 本商品は安定した水平なところに縦置きに設置してください。
- 製氷倉庫など特に温度が下がるところに置かないでください。本商品が正常に動作しないことがあります。

- 電気製品・AV・OA 機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください（電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、蛍光灯、電気こたつ、インバータエアコン、電磁調理器など）。
 - ・磁気や電気雑音の影響を受けると、雑音などが大きくなったり、通信ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
 - ・テレビ、ラジオなどに近くと、受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
 - ・放送局や無線局などが近く、雑音などが大きい時は、本商品の設置場所を移動してみてください。
- 硫化水素が発生する場所（温泉地）などでは、本商品の寿命が短くなることがあります。

お使いの時



注意

- 使用中にケーブルを誤って外さないでください。ケーブルに足など引っ掛けしないでください。使用中にケーブルが抜けると、大切なデータを失うことがあります。
- 機器の電源の入り切りは、5秒間以上おいてから行ってください。機器が正常に動作しない場合があります。
- 本商品に乗らないでください。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。こわれてけがの原因となることがあります。
- 万一、漏電した場合の感電事故防止のため、必ずアース線を取り付けてください。
- 本書に従って接続してください。間違えると接続機器や回線設備が故障することがあります。

その他



注意

- 長期間ご使用にならない時は、安全のため必ず電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから引き抜いてください。
- お手入れをする時は、安全のため必ず電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから引き抜いてください。

日頃のお手入れ



お願い

- ベンジン、シンナー、アルコールなどで拭かないでください。本商品の変色や変形の原因となることがあります。汚れがひどい時は、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れを拭き取り、柔らかい布でからぶきしてください。
- 落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。
- 本商品に殺虫剤などの揮発性のものをかけたりしないでください。また、ゴムやビニール、粘着テープなどを長時間接触させないでください。変形、変色の原因になることがあります。

目次

ご使用にあたってのお願い.....	i
安全にお使いいただくために必ずお読みください.....	ii
目次.....	vi
取扱説明書の構成（本書／CD-ROM）.....	vii
CD-ROMに収録されたファイルの見方.....	vii
「取扱説明書（詳細編）」目次.....	viii
ADSLモデム－SVIIの特長.....	ix
ADSLに関するご注意.....	ix
IP電話に関するご注意.....	x
1 お使いになる前に.....	1-1
1-1 セットの確認.....	1-1
1-2 ADSLモデム－SVIIの各部の名称と機能.....	1-2
1-3 操作の流れ.....	1-4
1-4 ADSLモデム－SVIIの設置.....	1-5
1-5 ADSLモデム－SVIIを接続する.....	1-6
1-6 ADSLモデム－SVIIとパソコンの電源を入れる.....	1-8
2 パソコンのネットワーク設定.....	2-1
2-1 TCP/IPの設定.....	2-1
2-2 IP設定の確認.....	2-9
3 Web設定.....	3-1
3-1 設定Web画面の表示.....	3-1
3-2 インターネットへの接続方法.....	3-3
3-3 フレッツ・スクウェアへの接続方法.....	3-6
3-4 IP電話の設定方法.....	3-8
3-5 電話の使用方法.....	3-11
3-6 機器状態・ログ.....	3-15
4 付録.....	4-1
4-1 故障かなと思ったら.....	4-1
4-2 初期化方法.....	4-7
4-3 自動アップデート.....	4-8
4-4 バージョンアップ.....	4-12
4-5 仕様一覧.....	4-14
4-6 用語集.....	4-16
4-7 索引.....	4-21
4-8 保守サービスのご案内.....	4-23

取扱説明書の構成（本書／CD-ROM）

本商品の取り扱いに関する説明書は、以下のように構成されています。ご利用の目的に合わせてお読みください。

- ・取扱説明書（本書）

本商品の接続のしかた、インターネット接続の設定方法、簡単な保守内容を記載しています。ご使用前に必ずお読みください。

- ・かんたんガイド（付属品）

本商品の接続のしかたや IP 電話での注意事項などを記載しています。

- ・取扱説明書（詳細編）（CD-ROM：PDF ファイル）

本商品の機能や設定方法をより詳しく記載しています。より高度な機能をご使用になる場合にお読みください。取扱説明書（詳細編）は、PDF ファイル形式となっています。

CD-ROM に収録されたファイルの見方



お知らせ

CD-ROM に収録されているファイルをご覧になる場合は、あらかじめ Adobe Reader または Acrobat Reader をインストールしていただく必要があります。

- ・Windows XP/2000/Me/98SE をお使いの場合

1. CD-ROM をパソコンにセットしてください。自動起動でファイル一覧のメニュー画面が表示されます。



お知らせ

メニュー画面が自動起動しない場合は、CD-ROM に含まれている「index.html」ファイルをダブルクリックしてください。

2. メニュー画面からファイルを選択してクリックください。

- ・Macintosh OS をお使いの場合

1. CD-ROM をパソコンにセットしてください。CD-ROM に含まれている「index.html」ファイルをダブルクリックしてください。ファイル一覧のメニュー画面が表示されます。
2. メニュー画面からファイルを選択してクリックください。

「取扱説明書（詳細編）」目次

付属 CD-ROM には、本商品の詳細な機能について説明した「機能詳細ガイド」が PDF ファイルで収録されています。ここではその概要を示します。

1 各種機能と設定項目

2 設定例

- 複数固定 IP サービスを利用する
- フレックス・スクウェアに接続する
- フレックス・コミュニケーションでの利用方法
- 外部にサーバ（Web、FTP）を公開する
- ネットワークゲームをする
- VPN を使用する

3 Web 設定

NAT ルータモード

- ・基本設定
- ・ADSL 設定
- ・LAN 設定
- ・接続先設定
- ・IP 電話設定
- ・スタティックルーティング設定
- ・UPnP 設定
- ・アクセス制限設定
- ・パケットフィルタ設定
- ・静的 NAT 設定
- ・静的 IP マスカレード設定
- ・SPI（ステートフル・パケット・インスペクション）設定

ブリッジモード

- ・基本設定
- ・ADSL 設定
- ・IP 設定
- ・接続先設定
- ・IP 電話設定
- ・スタティックルーティング設定
- ・アクセス制限設定

- ・プロトコルフィルタ設定

メンテナンス

- ・ログインパスワードの設定
- ・時刻設定
- ・設定の保存・復元
- ・設定の初期化

表示

- ・バージョン情報
- ・機器状態・ログ
- ・セキュリティログ
- ・NAT テーブル
- ・UPnP ログ
- ・UPnP CP（コントロールポイント）テーブル
- ・UPnP NAT 設定情報
- ・ブリッジ学習テーブル
- ・IP 電話設定情報
- ・ループバックテスト

保守

- ・Ping 送信
- ・ADSL 再接続
- ・PPPoE 切断/接続
- ・NAT テーブル消去
- ・UPnP NAT 情報消去
- ・再起動
- ・自動アップデート
- ・バージョンアップ

4 初期設定

- ・初期設定での起動方法
- ・初期設定内容一覧

5 用語集

ADSLモデム－SVⅡの特長

- ・ IP 電話機能をサポート
本商品では IP 電話機能をサポートしています。電話機やファクスなどを接続してインターネット経由による発着信が行えます。従来通りの方法で電話を利用することができます。
※ホームテレホンの内線電話機やデジタル電話機などは接続できません。
※IP 電話を用いてファクスやアナログモデム通信の送受信を行うと、失敗する場合があります。
- ・ インターネットへの高速・常時接続
ADSL 技術の採用で、加入電話回線を使用して、高速な通信を実現しています。本商品は以下の ADSL 標準に準拠しています。
Quad Spectrum 方式
ITU-T G. 992.1 (G. dmt) Annex I/Annex C
ITU-T G. 992.2 (G. lite) Annex C
- ・ Web ブラウザを利用した簡単設定、状態表示
Web ブラウザのメニュー形式画面から、必要な設定を簡単に行うことができます。また、ADSL ポートや LAN ポートの状態やリンク速度、IP 電話の状態などを Web ブラウザで確認することができます。
- ・ ログ蓄積機能
ADSL リンクが切断した時刻など、モデムの動作に関するログを記録しています。Web ブラウザにより参照することも可能です。
- ・ 複数パソコンのインターネットへの同時接続
アドレス変換機能 (NAT) や IP マスカレード機能に対応しているため、LAN 側に接続した複数のパソコンから、同時にインターネットへの接続ができます。
※複数のパソコンを同時に接続するには、ハブや無線 LAN アクセスポイントなどが必要になります。
- ・ 複数同時セッション接続機能
複数のセッションに同時に接続することができます。通常のインターネット接続プロバイダを使用すると同時に、当社が提供する各種のフレッツサービスなどを利用することができます。
※ADSL 回線が複数同時セッションに対応している必要があります。
- ・ ネットワーク設定の簡略化
DHCP サーバ機能を搭載しているため、LAN ポートに接続するパソコンのネットワーク設定を簡略化できます。

ADSLに関するご注意

- ・ 実際の通信速度は、パソコンの環境や接続プロバイダ、サーバ、接続時間帯により異なります。
- ・ ADSL を設置している当社局舎から設置場所までが離れている場合、あるいは十分な配線設備がない場合は、十分な通信速度が出ないか、または使用できないことがあります。
- ・ 設置場所の近くに幹線道路、線路、送電線、送信所など電波を発するものがある場合は、十分な通信速度が出ないか、または ADSL 回線による接続が途切れたりすることがあります。

- ・ 加入電話回線で着信があった場合は、ADSL 回線による接続が途切れることがあります。
- ・ 近くにガス検知器などがあると、十分な通信速度が出ないことがあります。
- ・ 次のような場合は、速度が遅くなる場合があります。
 - ISDN 回線などのノイズ源がある場合
 - 配線のルート変更で距離が伸びた場合
 - ADSL スプリッターで分離していても配線状況が悪い場合
- ・ ADSL のサービス提供地域であっても、設備・回線などの都合により本商品をご利用になれない場合があります。
- ・ 遠隔検針（ノーリング通信サービス）や警備保障、回線自動選択装置（ACR など）の加入電話回線を利用したサービスを利用されている場合、それらのサービスに支障をきたす場合があります。
- ・ ADSL 区間の距離や設備状況、他回線からの影響、お客様宅内で接続されている通信設備（ACR など）の影響により、最大通信速度が当初より得られない場合や、通信速度が変動する状態または通信が利用できない状態となる場合があります。
- ・ ADSL によるインターネット常時接続をご利用の場合、ネットワークを介して外部からの不正侵入及び情報搾取などの危険が増えます。必要に応じて、お客様のパソコン上にファイアウォールのソフトウェアをインストールするなどの対応をお願いいたします。
- ・ ADSL によるインターネット常時接続の設定をする場合、フレッツ・ADSL のセットアップマニュアルなどをご覧ください。
- ・ 本商品は西日本電信電話株式会社が提供する ADSL サービス用の装置であり、他の ADSL 事業者様が提供するサービスにはご利用できません。

IP 電話に関するご注意

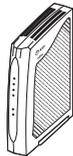
- ・ 下記のような場合には、IP 電話の通話品質が劣化する場合があります。
 - ADSL 回線の接続状況によって十分な帯域が確保できない場合
 - インターネットでも十分な帯域が確保できない場合
 - 本商品に接続しているパソコンで、ファイル転送やストリーミングサービスのような大きな帯域を必要とするサービスを使用中の場合
- ・ 本商品に接続している電話機の ACR などの機能が動作している場合、IP 電話が使用できない場合があります。ACR などの機能によって、加入電話を利用した場合には、通信に対して利用料金がかかります。必ず、電話機の ACR などの機能は、停止させてください。
- ・ マイライン（マイラインプラス）をご利用になる場合は、電話番号の先頭に「0000」（ゼロを 4 回）付けてから、通常の発信方法で発信してください。この場合、通話料はマイライン（マイラインプラス）に登録している電話会社から請求されます。
- ・ 停電時および本商品の電源が切れている場合には、IP 電話をご利用になれません。また、IP 電話による通話中に、停電および本商品の電源が切れると、通話が切断されます。

1 お使いになる前に

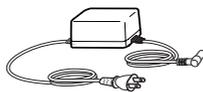
1-1 セットの確認

本商品には、製品本体および付属品が入っています。まずこれらがすべて揃っているかどうか確認してください。

万一、足りないものがありましたら、当社のサービス取扱所もしくはお買い上げになりました販売店までお申し付けください。



ADSLモデム-SVII
本体 1台



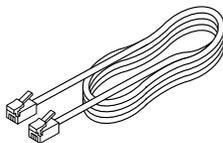
電源アダプタ
1個



CD-ROM 1枚



取扱説明書 (本書)
1冊



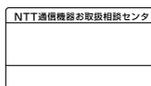
LANケーブル 1本
(ストレート カテゴリ5
長さ: 約2m)



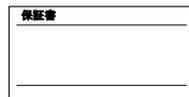
電話機コード 2本
(黒色、灰色、長さ: 約1.8m)



かんたんガイド 1枚



NTT通信機器お取扱相談
センタシール 1枚



保証書 1枚



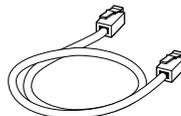
お知らせ

レンタル品の場合、保証書は付属していません。

スプリッタセットの場合は、以下のものが付属しています。



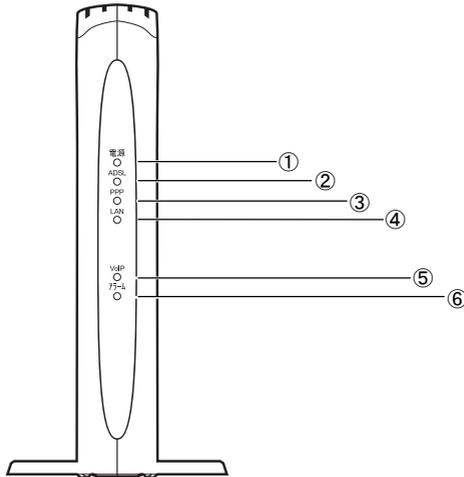
ADSLスプリッタ 1個



電話機コード 1本
(白色 長さ: 約20cm)

1-2 ADSLモデム-SV IIの各部の名称と機能

1-2-1 前面図



ランプの名称	表示 (色)		機能説明
① 電源ランプ	緑	点灯	通電中
	—	消灯	電源が切れている時
② ADSLランプ	緑	点灯	ADSLリンクアップ時
		点滅	トレーニング中/ ADSLリンクアップ後、データが流れている時
	—	消灯	局側装置と接続されていない時
③ PPPランプ	緑	点灯	PPPリンクアップ時
	赤	点滅	リンク確立中
		点滅	認証実行中/ 初期設定で起動している時
	—	点灯	IPアドレスの取得に失敗
—	消灯	PPP停止中	
④ LANランプ	緑	点灯	LANリンクアップ時
		点滅	データが流れている時
	—	消灯	LANリンクダウン時
⑤ VoIPランプ	緑	点灯	IP電話サーバと接続 (IP電話使用可能)
		点滅	IP電話発信中/着信呼び出し中/通話中
	橙	点滅	加入電話発信中/着信呼び出し中/通話中
	—	消灯	IP電話サーバと未接続 (IP電話使用不可能)
⑥ アラームランプ	赤	点滅	障害時
	—	消灯	正常時



お知らせ

PPP ランプは、接続先 1 (メインセッション) の状態を表示します。



お知らせ

各ランプの状態は、本体正面からご確認ください。（正常時には、電源、ADSL および LAN ランプが緑色に点灯もしくは点滅します。）



お知らせ

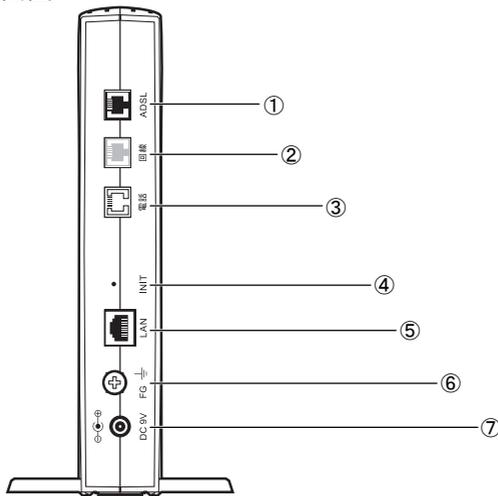
初期設定で起動している場合の各ランプの状態については「4-2-1 初期設定での起動方法」(📖 p. 4-7)を参照してください。



お知らせ

拡張自動設定が動作中のときは、ADSL ランプ（緑）と PPP ランプ（橙）が同時に点滅します。拡張自動設定の動作については、取扱説明書（詳細編）の拡張自動設定を行う場合を参照してください。

1-2-2 背面図



名称	表示	機能説明	備考
① ADSL回線ポート	ADSL回線	電話機コードを使用して、ADSL回線に接続します。	ポートは黒色です。
② 電話回線ポート (2線式アナログ)	電話回線	電話機コードを使用して、加入電話回線に接続します。	ポートは灰色です。
③ 電話機ポート (2線式アナログ)	電話機	電話機コードを使用して、電話機（またはファクス）を接続します。	ポートは白色です。
④ 初期設定起動スイッチ	INIT	電源ONの状態です5秒以上押し続けると、設定情報を初期設定に変更して再起動します。	
⑤ LANポート	LAN	LANケーブルを使用して、パソコンなどを接続します。	
⑥ アース端子	FG	アース線を接続します。	
⑦ 電源アダプタコード端子	DC 9V	専用の電源アダプタを接続します。	

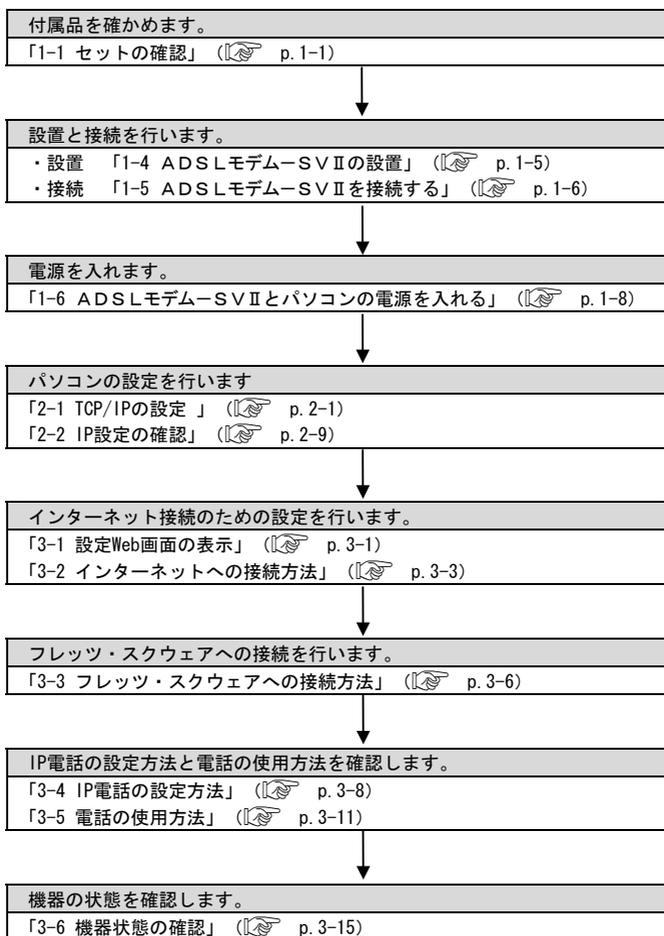


お知らせ

初期設定起動スイッチのご使用方法については、「4-2-1 初期設定での起動方法」(📖 p. 4-7)を参照してください。

1-3 操作の流れ

本商品をお使いになる前に必要な準備や操作の大まかな流れを次に示します。



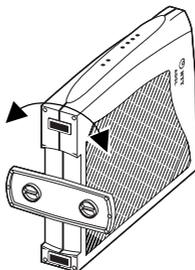
お知らせ

NAT ルータモードをご使用の場合は、フレッツ接続ツールを使用する必要はありません。

1-4 ADSLモデム-SVⅡの設置

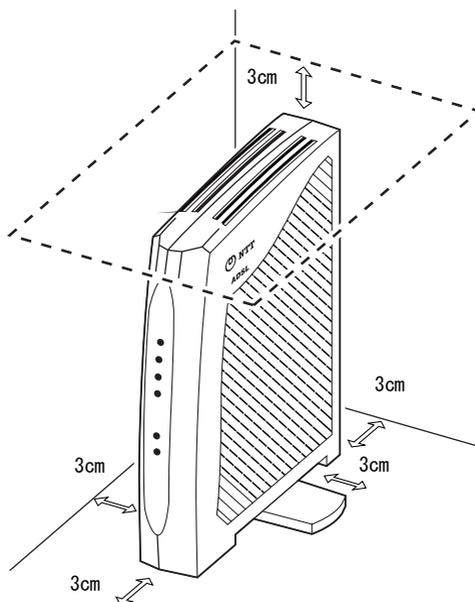
- 1 本商品底面の、回転縦置き台を回転させてください。

回転縦置き台は、「カチッ」と音がして止まるまでまわしてください。



- 2 安定した水平なところに縦置きで設置してください。

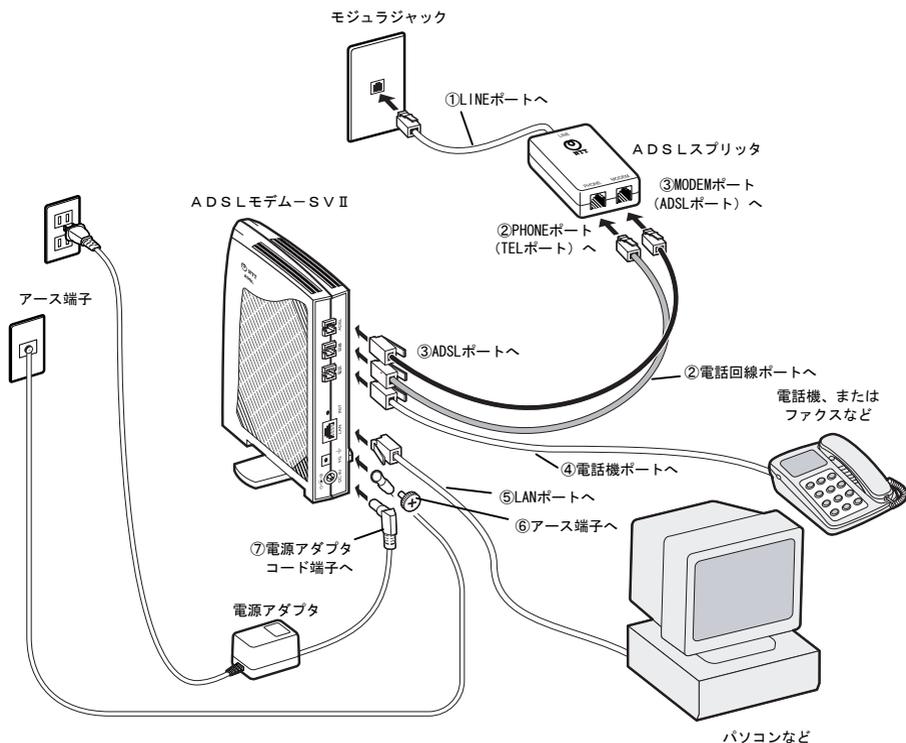
本商品の前後左右3cm、上3cmには、壁や物がない場所に設置してください。



注意

本商品は横置きでの使用はできません。換気が悪くなると本体内部の温度が上がり、故障の原因になります。

1-5 ADSLモデム-SV IIを接続する



STOP

お願い

ADSLスプリッタは単なる分岐装置ではありません。ADSLスプリッタには通話用の低周波と、データ通信用の高周波を分離する回路が内蔵されており、単に結線されただけの分岐装置では代用できません。

- ① ADSLスプリッタのLINEポートとモジュラジャックを、ADSLスプリッタに付属している電話機コード（白：20cm）で接続します。
- ② ADSLスプリッタのPHONEポート（TELポート）と本商品の電話回線ポート（灰）を、上記②で選択した電話機コードで接続します。
- ③ ADSLスプリッタのMODEMポート（ADSLポート）と本商品のADSLポート（黒）を、本商品に付属している電話機コード（黒：1.8m ストレート）で接続します。
- ④ 本商品の電話機ポート（白）に電話機（またはファクス）を接続します。



お知らせ

ホームテレホンの内線電話機やデジタル電話機などには接続できません。



お知らせ

IP電話を用いてファクスやアナログモデム通信の送受信を行うと、失敗する場合があります。



お知らせ

電話機接続用の電話機コードは付属しておりません。現在ご使用中のものをお使いください。

- ⑤ 本商品のLANポートとパソコンを、本商品に付属しているLANケーブル(ストレート)で接続します。



お願い

パソコンのかわりにハブなどを使用する場合に、クロスケーブルが必要な場合があります。ハブなどの取扱説明書で、使用するLANケーブルの仕様を確認してください。

- ⑥ 本商品と壁側のアース端子を、市販のアース線で接続してください。



お知らせ

アース線は付属していません。

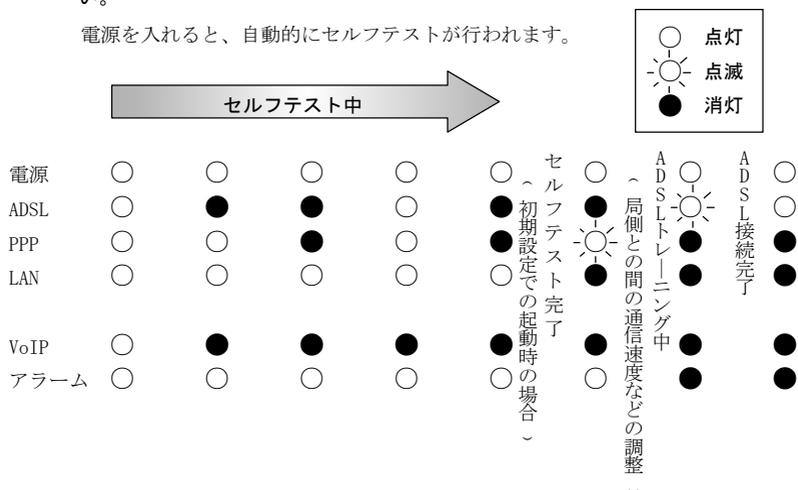
- ⑦ 電源アダプタを本商品の電源アダプタコード端子に接続します。電源アダプタをコンセントに差し込むと、本商品の電源ランプが緑に点灯することを確認してください。

1-6 ADSLモデム-SVIIとパソコンの電源を入れる

本商品の接続が正しく行われていることを確認した後、次の操作を行ってください。

- 1 本商品の電源を入れると、本体前面にあるランプが点灯することを確認してください。

電源を入れると、自動的にセルフテストが行われます。



セルフテスト中はアラームランプが点灯します。アラームランプが消灯したら、セルフテストが完了です。アラームランプが消灯していれば、本商品が正常に動作していることを示しています。



お願い

セルフテストによって異常が発見された場合は、アラームランプが点滅します。再度接続を見直したうえで、電源を入れなおしても、状況が改善されない場合は故障の場合の連絡先（☎ p. 4-23）へご連絡ください。



お知らせ

本商品が初期設定で起動している場合に、セルフテスト完了時にPPPランプが橙色に点滅します。ADSLのトレーニングが開始されるか、本商品の設定情報を変更すると、PPPランプの点滅は停止します。



お知らせ

ADSLランプは、ADSLサービスが開始されていなければ、点滅を開始しません。また、電話機コード（黒）が正しく接続されていなかったり、ADSL側で障害が発生したりすると、点灯しなかったり、点滅を繰り返したりすることがあります。



お知らせ

PPPランプは、接続ユーザー名、接続パスワードなどを正しく設定しないと、緑色の点灯状態になりません。（☎ 「3-2 インターネットへの接続方法」 p. 3-3）



お知らせ

LANランプは、パソコンの電源が入っていなかったり、LANケーブルが正しく接続されていないと点灯しません。



お知らせ

VoIPランプは、IP電話の設定が完了し、IP電話サービスが利用可能にならない限り、緑色に点灯しません。 (☞ 「3-4 IP電話に関する設定方法」 p. 3-8)

2 パソコンを起動して、LAN ランプが点灯することを確認してください。

本商品へのアクセスを行う場合は、パソコンの設定を行った上で、Web ブラウザによってアクセスしてください。 (☞ 「3 Web 設定」 p. 3-1)



お願い

LANランプは、パソコンのEthernetインタフェースの取り付けや設定が誤っていたり、LANケーブルが正しく接続されていないと点灯しません。

2 パソコンのネットワーク設定

本商品を使用して、インターネットに接続したり IP 電話を使ったりするには、ご使用のパソコンの Web ブラウザを使って本商品にアクセスし、設定を行う必要があります。本章では、本商品へのアクセスに必要なパソコンのネットワーク設定について記述します。

本商品へのアクセスに必要なパソコンのハードウェア、ソフトウェアは以下のとおりです。

ハードウェア：

- ・ Ethernet インタフェースを持ったパソコンなど。



お知らせ

Ethernet インタフェースの取り付け方法および設定方法については、パソコン本体や Ethernet カードなどに付属している取扱説明書を参照してください。

ソフトウェア：

- ・ Web ブラウザは下記のバージョンに対応しています。

<Windows の場合>

- ・ Microsoft Internet Explorer Ver. 5.0 以上
(Ver. 5.0 Service Pack 2 では本商品の一部の機能が正しく動作しません。
Ver. 5.5 以上へバージョンアップしてご使用ください。)
- ・ Netscape Communicator Ver. 4.7 以上
(Ver. 6.0 以上を使用した場合は、一部の画面が正しく表示されません。)

<Macintosh の場合>

- ・ Microsoft Internet Explorer Ver. 5.0 以上
- ・ Netscape Communicator Ver. 4.7 以上
(Ver. 6.0 以上を使用した場合は、一部の画面が正しく表示されません。)

2-1 TCP/IP の設定

ご使用のパソコンから本商品にアクセスしたり、本商品を使用してインターネットへアクセスしたりするために、ご使用の Ethernet インタフェースに対して、正しく TCP/IP プロトコルの設定を行います。ここでは、TCP/IP の設定方法についてご使用の OS 毎に説明します。



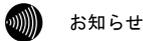
お知らせ

本商品は、ご使用のパソコンに対して、自動的に IP アドレスなどの TCP/IP に関連する設定を行う機能 (DHCP サーバ機能) を持っています。ご使用のパソコンで、IP アドレスや DNS サーバアドレスを自動的に取得できるように設定すれば、本商品にアクセスできます。

パソコンを初期設定でお使いの場合は、ここでの設定は必要ありません。「2-2 IP 設定の確認」(p. 2-9) へお進みください。

1 TCP/IP の設定を行ってください。

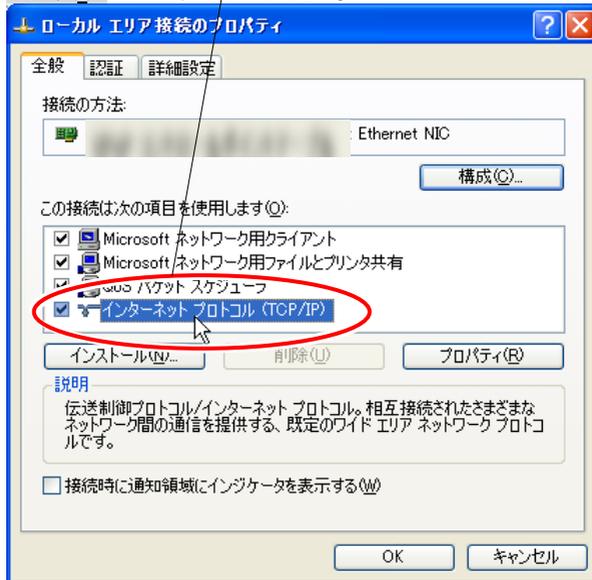
- ① [スタート]→[コントロールパネル(C)]を選択してクリックしてください。
- ② [コントロールパネル]画面が表示されますので、「作業する分野を選びます」から、[ネットワークとインターネット接続]のカテゴリを選択し、クリックしてください。
- ③ [ネットワークとインターネット接続]画面が表示されますので、「コントロールパネルを選んで実行します」から、[ネットワーク接続]を選択してクリックしてください。
- ④ [ネットワーク接続]画面が表示されますので、使用するネットワークアダプタ名が表示されている[ローカルエリア接続]を選択してダブルクリックしてください。
- ⑤ [ローカルエリア接続の状態]画面が表示されますので、[全般]のタブから **プロパティ(P)** をクリックしてください。



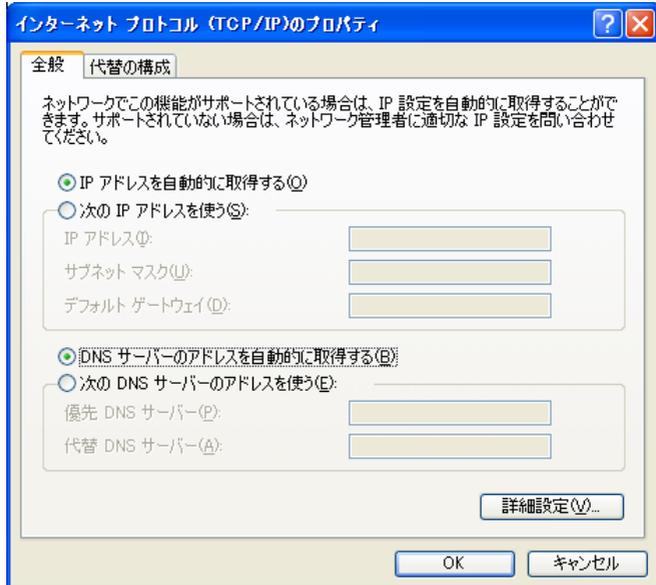
お知らせ

パソコンのLANケーブルが抜けていたりして、Ethernetアダプタの動作が有効でないときには、[ローカルエリア接続の状態]画面は表示されません。

- ⑥ [ローカルエリア接続のプロパティ]画面が表示されますので、[全般]のタブから **インターネットプロトコル (TCP/IP)** を選択してクリックし、その後で **プロパティ(R)** をクリックしてください。



⑦以下のような画面になりますので、[全般]のタブをクリックしてください。



⑧[IP アドレスを自動的に取得する (A)]と、[DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する (B)]を選択してください。

2 **OK** をクリックしてください。

設定が保存され、有効になります。[ローカルエリア接続のプロパティ]画面を閉じて、パソコンをご使用ください。



お知らせ

本項で説明した手順および選択画面名称は、「カテゴリーの表示」のものです。「クラシック表示」をご使用の場合は、手順や選択画面の名称が異なります。

1 TCP/IP の設定を行ってください。

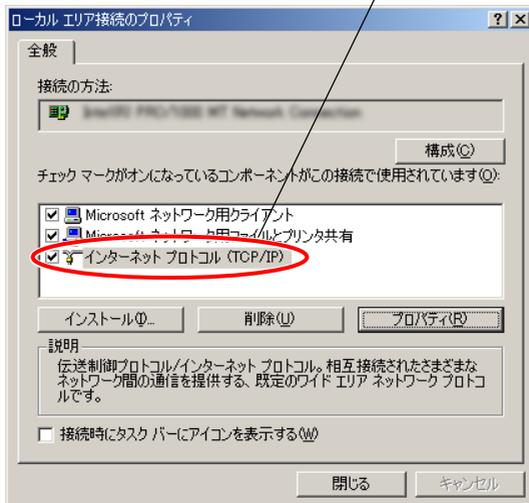
- ① [スタート]→[設定(S)]→[コントロールパネル(C)]を選択してクリックしてください。
- ② [コントロールパネル]画面が表示されますので、[ネットワークとダイアルアップ接続]のアイコンを選択してダブルクリックしてください。
- ③ [ネットワークとダイアルアップ接続]画面が表示されます。マウスのポインタを近づけると使用するネットワークアダプタ名が表示される[ローカルエリア接続]のアイコンを選択してダブルクリックしてください。
- ④ [ローカルエリア接続 状態]画面が表示されますので、その中の **プロパティ(P)** をクリックしてください。



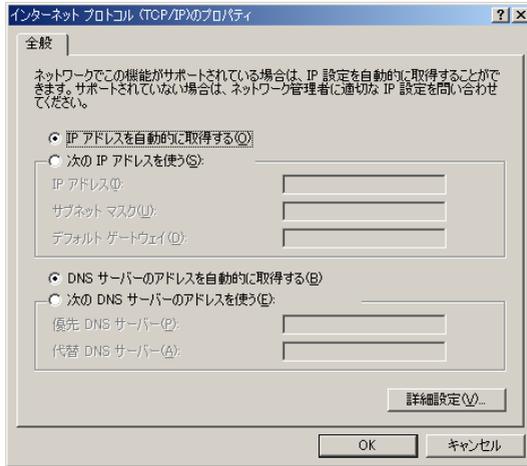
お知らせ

パソコンのLANケーブルが抜けていたりして、Ethernetアダプタの動作が有効でないときには、[ローカルエリア接続 状態]画面は表示されません。

- ⑤ [ローカルエリア接続のプロパティ]画面が表示されますので、[全般]のタブの中から[インターネットプロトコル (TCP/IP)]を選択してクリックしてください。



- ⑥ [インターネットプロトコル (TCP/IP)] の部分の色が変わったら、**プロパティ (R)** をクリックしてください。以下の画面が表示されます。



- ⑦ [IP アドレスを自動的に取得する (Q)] と、[DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する (B)] を選択してください。

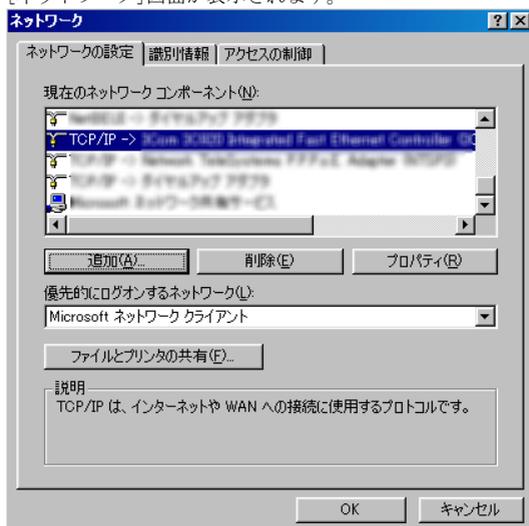
- 2** **OK** をクリックしてください。

設定が保存され、有効になります。[ローカルエリア接続のプロパティ]画面を閉じて、パソコンをご使用ください。

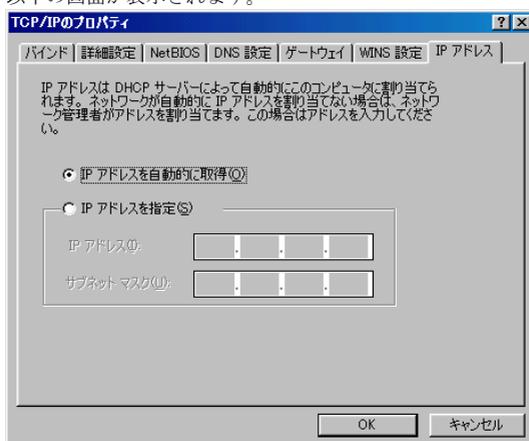
Windows Me/98SE の場合

1 TCP/IP の設定を行ってください。

- ① [スタート]→[設定(S)]→[コントロールパネル(C)]を選択してクリックしてください。
- ② [コントロールパネル]画面が表示されますので、[ネットワーク]のアイコンを選択してダブルクリックしてください。
[ネットワーク]画面が表示されます。



- ③ [ネットワークの設定]のタブから[TCP/IP -> (使用するネットワークアダプタ)]をクリックし、その後で **プロパティ(R)** をクリックしてください。
以下の画面が表示されます。



- ④ [IP アドレス]のタブから[IP アドレスを自動的に取得(O)]を選択してください。

2 **OK** をクリックしてください。

「再起動」を促すメッセージがパソコン上に表示されます。再起動後に、設定内容が有効となります。



お知らせ

設定内容に変更がない場合は、「再起動」を促すメッセージは表示されません。そのままパソコンをご使用ください。

Macintosh の場合 (Mac OS X以降)

1 アップルメニュー (🍏) から [システム環境設定] を選択してクリックしてください。

[システム環境設定] 画面が表示されますので、[インターネットとネットワーク] から [ネットワーク] のアイコンをクリックしてください。[ネットワーク] 画面で、[TCP/IP] 画面が表示されます。



2 [表示]、[設定] に次の内容を選択した後、画面を閉じてください。

- ・表示：内蔵 Ethernet
- ・設定：DHCP サーバを参照

3 保存の確認ダイアログボックスが表示されたら、**はい** をクリックしてください。

設定内容が保存され、有効になります。



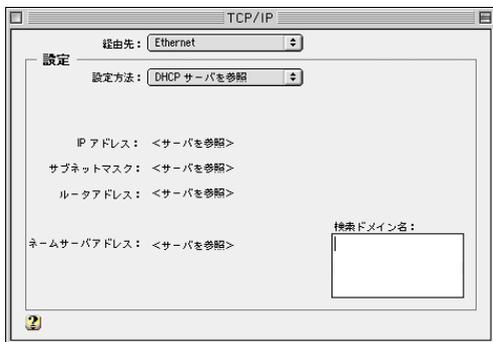
お知らせ

設定内容に変更がない場合は、保存の確認ダイアログボックスは表示されません。そのままパソコンをご使用ください。

Macintosh の場合 (Mac OS 9 以前)

- 1 アップルメニュー (🍏) の [コントロールパネル] から [TCP/IP] を選択してクリックしてください。

[TCP/IP] 画面が表示されます。



- 2 [経由先]、[設定方法]に次の内容を選択した後、画面を閉じてください。
 - ・経由先 : (内蔵) Ethernet
 - ・設定方法 : DHCP サーバを参照
- 3 保存の確認ダイアログボックスが表示されたら、**はい** をクリックしてください。
設定内容が保存され、有効になります。



お知らせ

設定内容に変更がない場合は、保存の確認ダイアログボックスは表示されません。
そのままパソコンをご使用ください。

2-2 IP設定の確認

ここで示す手順に従って、パソコンに割り当てられた IP アドレスを確認してください。

STOP お願い

IP 設定を確認して、適切な IP アドレスが割り当てられていないときには、本商品へのアクセスができません。IP アドレス情報の更新を行ってください。IP アドレス情報の更新を行っても正しい IP アドレスが割り当てられない場合は、次の点を確認した上でパソコンの再起動を行ってください。

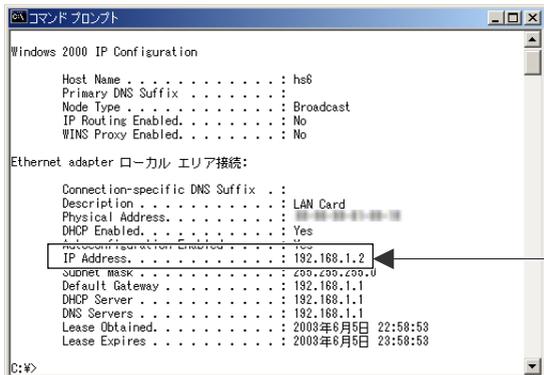
- ・ LAN ケーブルが正しく接続されているか (LAN ランプは点灯しているか)
- ・ TCP/IP プロトコルは正しく設定されているか (☞ 「2-1 TCP/IP の設定」 p. 2-1)
- ・ Ethernet カードなどが正しく取り付けられ、設定されているか

Windows XP/2000 の場合

- 1 [スタート]-[すべてのプログラム (P)] (Windows 2000 の場合は[プログラム (P)])
-[アクセサリ]-[コマンドプロンプト]を選択してクリックしてください。
[コマンドプロンプト]ダイアログボックスが表示されます。

- 2 「ipconfig /all」と入力し、Enter キーを押してください。

TCP/IP の設定内容が「IP Address」の行に表示されます。



```
Windows 2000 IP Configuration

Host Name . . . . . : hs6
Primary DNS Suffix . . . . . :
Node Type . . . . . : Broadcast
IP Routing Enabled. . . . . : No
WINS Proxy Enabled. . . . . : No

Ethernet adapter ローカル エリア接続:

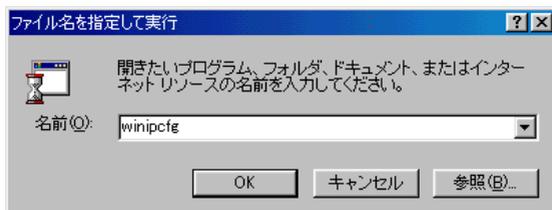
    Connection-specific DNS Suffix . . :
    Description . . . . . : LAN Card
    Physical Address. . . . . :
    DHCP Enabled. . . . . : Yes
    Autoconfiguration Enabled . . . . . : Yes
    IP Address. . . . . : 192.168.1.2
    Subnet Mask . . . . . : 255.255.255.0
    Default Gateway . . . . . : 192.168.1.1
    DHCP Server . . . . . : 192.168.1.1
    DNS Servers . . . . . : 192.168.1.1
    Lease Obtained. . . . . : 2003年6月5日 22:58:53
    Lease Expires . . . . . : 2003年6月5日 23:58:53

C:\>
```

- 3 パソコンに割り当てられた IP アドレス情報が正しくなかった場合は、
「ipconfig /release」と入力し、Enter キーを押した後で、
「ipconfig /renew」と入力し、Enter キーを押して、IP アドレスを更新してください。

- 1 [スタート]-[ファイル名を指定して実行(R)]をクリックしてください。

[ファイル名を指定して実行]ダイアログボックスが表示されます。



- 2 入力欄に「winipcfg」と入力し、**OK** をクリックしてください。

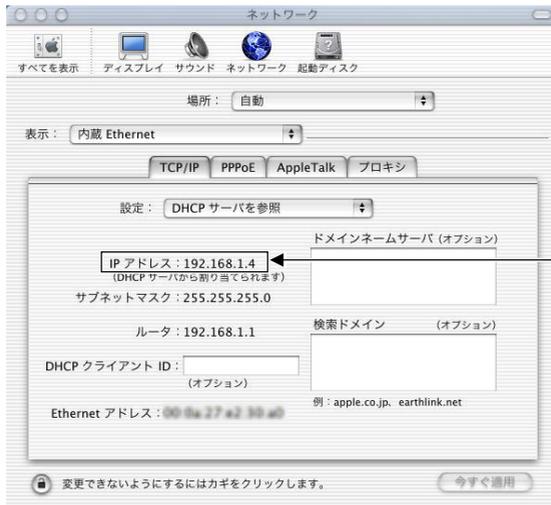
[IP 設定]画面が表示され、TCP/IP の設定内容が表示されます。



- 3 [IP 設定]画面のプルダウンメニューから、使用するネットワークアダプタを選択してください。
- 4 パソコンに割り当てられた IP アドレス情報が正しくなかった場合は、[IP 設定]画面から、[解放(S)]→[書き換え(N)]の手順で更新してください。

Macintosh (Mac OS X以降) の場合

- 1 アップルメニュー (🍏) から [システム環境設定] を選択してクリックしてください。
- 2 [システム環境設定] 画面が表示されますので、[インターネットとネットワーク] から [ネットワーク] のアイコンをクリックしてください。
[ネットワーク] 画面で、[TCP/IP] 画面が表示されます。



- 3 IP アドレスなどが正しく表示されていることを確認してください。



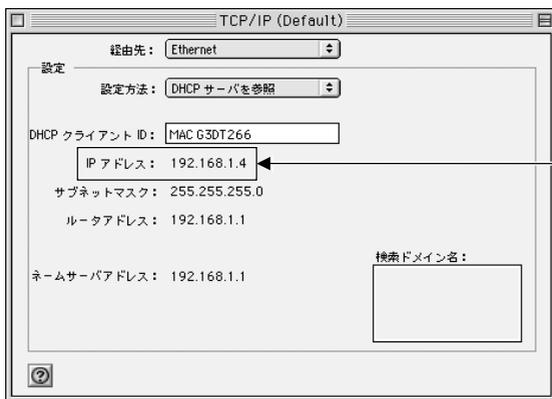
お知らせ

Mac OS の場合、コマンドを使って IP アドレス情報を更新することはできません。
LAN ケーブルを抜き差しするか、パソコンの再起動を実施してください。

Macintosh (Mac OS 9 以前) の場合 :

- 1 アップルメニュー (🍏) から[コントロールパネル]-[TCP/IP]をクリックしてください。

[TCP/IP]画面が表示されます。



- 2 IP アドレスなどが正しく表示されていることを確認してください。



お知らせ

Mac OS の場合、コマンドを使って IP アドレス情報を更新することはできません。
LAN ケーブルを抜き差しするか、パソコンの再起動を実施してください。

3 Web設定

本商品にパソコンの Web ブラウザを使ってアクセスして、設定の変更や、ご使用中の機器状態の確認などを行うことができます。

3-1 設定Web画面の表示

Web ブラウザで本商品に接続することにより、管理メニューが表示されます。

- 1 Web ブラウザを起動してください。
- 2 Web ブラウザのアドレス欄に、下記のアドレスを入力し、Enter キーを押してください。

<http://ntt.setup/>
(<http://192.168.1.1/> (初期設定の場合) でもアクセスすることができます。)
ネットワークパスワードの入力ダイアログボックスが表示されます。



※ご使用の Web ブラウザや OS のバージョンによって画面表示は異なりますが、入力が必要な項目は同じです。

STOP お問い合わせ

ご使用のパソコンの DNS サーバアドレスとして本商品の IP アドレスが指定されていない場合は、<http://ntt.setup/> でアクセスできません。このような場合は、<http://192.168.1.1/> (初期設定の場合) のように、本商品の IP アドレスを直接入力してください。

- 3 次のユーザー名およびパスワードを入力し、**OK** をクリックしてください。

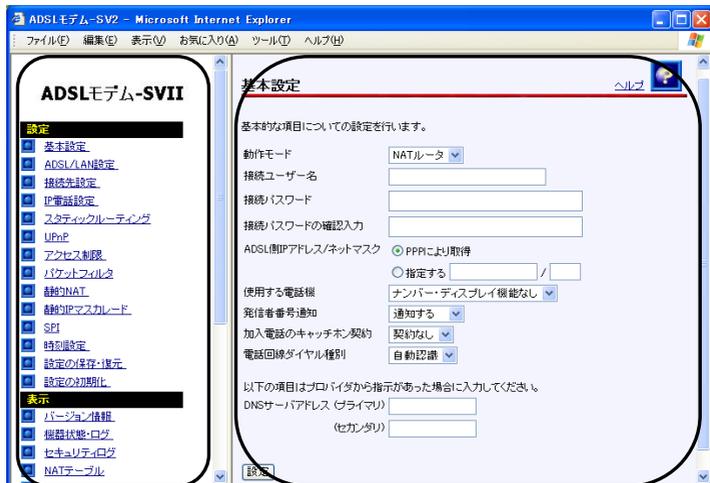
- ・ ユーザー名 : user
- ・ パスワード : user

このユーザー名、パスワードは初期値です。運用開始時には、セキュリティの観点から、ユーザー名とパスワードを変更して使用されることをお勧めします。変更方法については取扱説明書 (詳細編) の「ログインパスワードの設定」を参照してください。

なお、IP アドレスやログインパスワードを忘れた場合は、「4-2-1 初期設定での起動方法」 (👉 p. 4-7) を参照し、初期設定に戻してご使用ください。

4 本商品管理メニューが表示されます。

管理メニューは、メニューフレームと操作フレームに分かれています。メニューフレームから、「設定」「表示」「保守」の各メニューを選択すると、操作フレームに設定ページや関連情報が表示されます。



“メニューフレーム”

“操作フレーム”



お知らせ

操作フレーム右上にある  マークをクリックすると、各ページのヘルプが表示されます。



お知らせ

説明に使用している画面表示は、お使いの Web ブラウザや OS バージョンによって異なります。



お知らせ

お使いの Web ブラウザや Web ブラウザの設定により、説明されている操作を行った際に、Web ブラウザが以前に保存していた内容を表示する場合があります。この場合は、Web ブラウザのインターネット一時ファイル（キャッシュ）を削除してから、画面を更新してください。（詳しくは、各 Web ブラウザのヘルプをご参照ください。）



お知らせ

回線の状況や設定によっては、設定内容が Web ブラウザに表示されるまでに時間がかかる場合があります。



お知らせ

Web ブラウザの  (戻る) や  (進む) のボタンを使用しないでください。本商品への操作が正しく行われない場合があります。

3-2 インターネットへの接続方法

基本設定の画面で、インターネットへアクセスするために必要な設定を行います。また、本商品に接続した電話機が正しく動作するように、ご使用になる電話機や加入電話回線で契約されているサービスに関連する設定も行います。



お知らせ

より詳細な設定を行いたい場合は、取扱説明書（詳細編）を参照してください。

- 1 メニューフレームの **基本設定** をクリックし、[動作モード] を「NAT ルータ」に選択してください。

操作フレームに基本設定の画面が表示されます。

- [接続ユーザー名]
プロバイダから指定された PPP 認証用の ID を入力してください。
- [接続パスワード]
- [接続パスワードの確認入力]
プロバイダから指定された PPP 認証用のパスワードを入力してください。
「接続パスワードの確認入力」にも同じパスワードを入力してください。
- [ADSL 側 IP アドレス/ネットマスク]
プロバイダから特に指定がない限りは、「PPP により取得」を選択してください。



お知らせ

複数固定IPアドレスサービスをご利用の場合は「指定する」を選択し、プロバイダから指定されたIPアドレス/ネットマスクを入力してください。（詳しくは、取扱説明書（詳細編）を参照してください。）

● [使用する電話機]

電話機ポートに接続する電話機に、ナンバー・ディスプレイ機能があるかないかを選択してください。

- ・ナンバー・ディスプレイあり
- ・ナンバー・ディスプレイ機能なし



お知らせ

本商品にナンバー・ディスプレイ機能のない電話機を接続して、「ナンバー・ディスプレイ機能あり」と設定した場合、IP電話着信時にハンドセットをあげた後に、もう一度フッキングしないと通話できないことがあります。

● [発信者番号通知]

IP電話に発信する場合、もしくは、加入電話に自動迂回して発信する場合に、自分のIP電話番号を通知するかどうかを選択してください。

(発信先によっては、加入電話に自動迂回される場合があります)

- ・通知する
- ・通知しない

● [加入電話のキャッチホン契約]

加入電話回線でキャッチホン契約を結んでいるかどうかを選択してください。

- ・契約あり
- ・契約なし



お願い

当社が行っている「硬貨収納等信号送出サービス」をご利用の場合は、「契約あり」を選択してください。

● [電話回線ダイヤル種別]

電話回線で使用しているダイヤル種別です。通常は「自動認識」を選択してください。加入電話の回線種別にあわせて自動的にダイヤル種別が設定されます。

- ・自動認識
- ・PB
- ・DP 20pps
- ・DP 10pps



お知らせ

ご使用環境によっては「自動認識」で回線種別が正しく認識できず、加入電話網に発信できなくなる場合があります。その場合は加入電話の回線種別にあわせて「PB」「DP 20pps」「DP 10pps」のいずれかを設定してください。



お願い

ご使用の電話機の回線ダイヤル種別も、加入電話の回線ダイヤル種別にあわせて設定してください。

なお、加入電話回線を接続せずにIP電話のみをご使用される場合には、[電話回線ダイヤル種別]に「自動認識」を設定し、ご使用の電話機の回線ダイヤル種別に「PB」を設定してください。

● [DNS サーバアドレス]

プロバイダから DNS サーバアドレスの入力を行うように指定されている場合に、2つの DNS サーバのアドレス（プライマリ/セカンダリ）を入力してください。



お知らせ

プロバイダから指定がない場合には、何も入力しないでください。

2 **設定** をクリックしてください。

設定内容が保存されます。

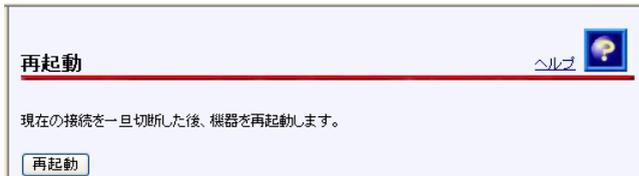


お知らせ

再起動を促すメッセージが表示された場合、以下の手順に従って設定を反映させるために再起動を行ってください。アラームランプが消灯して再起動したことを確認した後、**再表示** をクリックし、本商品に再度接続してください。

3 **再起動画面へ** をクリックしてください。

再起動の画面が表示されます。

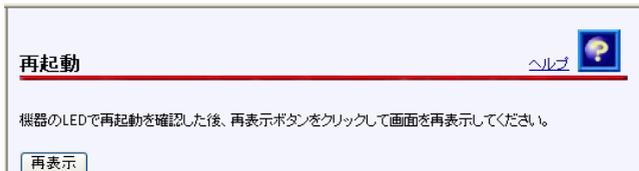


お知らせ

設定を保存し再起動が完了した時点で、設定した内容に従って機器が動作します。

4 **再起動** をクリックしてください。

機器の再起動中の画面が表示され、本商品が再起動します。



お知らせ

再起動中には、Webブラウザで本商品に接続することはできません。

5 アラームランプが消灯すれば再起動は完了です。**再表示** をクリックしてください。

ADSL ランプ、PPP ランプが緑色に点灯すれば、インターネットへの接続が可能となります。



お知らせ

NATルータモードで使用する場合は、フレッツ接続ツールを使用しないでください。

3-3 フレッツ・スクウェアへの接続方法

当社が提供するフレッツ・スクウェアを利用するための設定内容が、接続先設定のNo.2(サブセッション1)にあらかじめ設定されています。フレッツ・スクウェアに接続する場合は、PPP 切断/接続の画面で次の操作を行います。



お知らせ

フレッツ・スクウェアに関する詳細は、当社のホームページなどでご確認ください。

- 1 メニューフレームの **PPP 切断/接続** をクリックしてください。

操作フレームに PPP 切断/接続の画面が表示されます。

PPPoE切断/接続 ヘルプ

PPPoEの切断/接続を行います。

接続先



お知らせ

接続先がPPP接続されていない状態の場合は、プルダウンメニューの接続先に[未接続]が表示されます。

- 2 フレッツ・スクウェアに接続する場合は、「接続先 2 (FletsSquare West)」を選択してから **接続** をクリックしてください。

PPPoE切断/接続 ヘルプ

PPPoE接続を実行しました。

フレッツ・スクウェアから切断する場合は、「接続先 2 (FletsSquare West)」を選択してから **切断** をクリックしてください。

PPPoE切断/接続 ヘルプ

PPPoE切断所を実行しました。

3 PPPの接続状態を確認してください。



お知らせ

PPPの切断後や再接続終了後も、特に画面の表示に変化はありません。



お知らせ

PPPランプは、接続先1を切断すると“PPP停止中”（消灯）となり、接続先1に接続していると“PPPリンクアップ”（緑色に点灯）になります。その他の接続先の接続状態は 機器状態・ログ をクリックし、[PPPoEの状態] や [PPPの状態] で確認してください。



お知らせ

ご契約されているセッション数を越えてPPPoEセッションを接続することはできません。その場合は、接続先を切り替えながらご使用ください。接続先を切り替えたい場合は、まず切断する接続先を選択してから **切断** をクリックしてください。そして接続する接続先を選択してから **接続** をクリックしてください。

4 パソコンから、フレッツ・スクウェア (<http://www.flets/>) にアクセスしてください。

フレッツ・スクウェアのTOPページが表示されます。



お願い

フレッツ・スクウェアへのアクセスは、接続の完了を確認してから行ってください。



お知らせ

フレッツ・スクウェアへのルーティングは、フレッツ・スクウェア宛のドメイン名をみて判断しています。そのため、本商品の設定変更などに伴って本商品を再起動した場合、本商品内に保存されているドメイン情報がクリアされるため、フレッツ・スクウェアに対するアクセスができなくなることがあります。このような場合には、パソコンを再起動する（Windows Me/98SEやMac OSの場合）か、IPアドレスを更新し（Windows XP/2000の場合）1分以上待ってから接続してください。

3-4 IP電話の設定方法

IP 電話をご利用になるには、IP 電話サービス事業者（プロバイダ）への登録が必要になります。登録方法については、各プロバイダのホームページなどをご参照ください。本商品に対する IP 電話を使用するための設定方法は、プロバイダによって異なります。ご自身が契約されているプロバイダの IP 電話設定方法をお確かめください。IP 電話サービスを受けるための設定を手動で行うようにプロバイダから指示されている場合は、下記の記述に従って、各項目の設定をお願いします。

STOP お願い

プロバイダの Web ページに記載されている指示に従って IP 電話の設定を自動的に行うことができる場合は、以下の設定は不要です。なお、自動的に設定された内容も IP 電話設定の画面で表示されますが、記入されている内容の変更を行わないでください。IP 電話機能が使用できなくなります。

1 メニューフレームの IP 電話設定 をクリックしてください。

操作フレームに IP 電話設定の画面が表示されます。

IP電話設定		ヘルプ
IP電話に関する設定を行います。IP電話サービス事業者の指示に従って設定してください。		
SIPサーバアドレス	<input type="text"/>	
SIPサーバポート番号	<input type="text" value="5060"/>	
REGISTERサーバアドレス	<input type="text"/>	
REGISTERサーバポート番号	<input type="text" value="5060"/>	
SIPドメイン名	<input type="text"/>	
ユーザー名	<input type="text"/>	
パスワード	<input type="password"/>	
IP電話番号	<input type="text"/>	
市外局番	<input type="text"/>	
ソフトアップデート確認URL	<input type="text"/>	
<input type="button" value="設定"/>		

- [SIP サーバアドレス]
プロバイダから指定された SIP サーバアドレスを入力してください。
- [SIP サーバポート番号]
プロバイダから指定された SIP サーバポート番号を入力してください。
初期値として「5060」が入力されています。特にプロバイダからの指示がない場合は、本初期値を変更しないでください。
- [REGISTER サーバアドレス]
プロバイダから指定された REGISTER サーバアドレスを入力してください。

- [REGISTER サーバポート番号]
プロバイダから指定された REGISTER サーバポート番号を入力してください。
初期値として「5060」が入力されています。特にプロバイダからの指示がない場合は、本初期値を変更しないでください。
- [SIP ドメイン名]
プロバイダから指定された SIP ドメイン名を入力してください。
- [ユーザー名]
プロバイダから指定された IP 電話ユーザー名を入力してください。
- [パスワード]
プロバイダから指定された IP 電話パスワードを入力してください。
- [IP 電話番号]
プロバイダから指定された IP 電話番号を入力してください。
- [市外局番]
契約されている加入電話の市外局番を入力してください。
- [ソフトアップデート確認用 URL]
プロバイダから指定された URL を入力してください。
指定されていない場合は、何も入力しないでください。

2 設定 をクリックしてください。

設定内容が保存され、設定変更の確認画面が表示されます。

IP電話設定

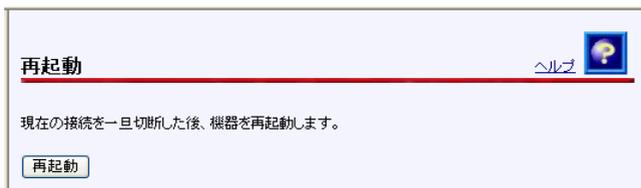

現在使用中の設定が変更されています。現在の設定を反映するには、再起動を実行してください。→ [再起動画面へ](#)

IP電話に関する設定を行います。IP電話サービス事業者の指示に従って設定してください。

SIPサーバアドレス	<input type="text" value="192.168.1.1"/>
SIPサーバポート番号	<input type="text" value="5060"/>
REGISTERサーバアドレス	<input type="text" value="192.168.1.1"/>
REGISTERサーバポート番号	<input type="text" value="5060"/>
SIPドメイン名	<input type="text" value="1.1.1.1"/>
ユーザー名	<input type="text" value="user"/>
パスワード	<input type="password" value="****"/>
IP電話番号	<input type="text" value="0123456789"/>
市外局番	<input type="text" value="03"/>
ソフトアップデート確認用URL	<input type="text" value="http://soft.update"/>

3 **再起動画面へ** をクリックしてください。

再起動の画面が表示されます。

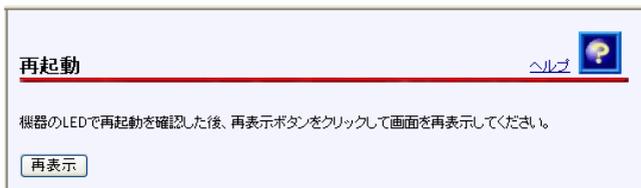


お知らせ

設定を保存し再起動が完了した時点で、設定した内容に従って機器が動作します。

4 **再起動** をクリックしてください。

機器の再起動中の画面が表示され、本商品が再起動します。



お知らせ

再起動中には、Webブラウザで本商品に接続することはできません。

5 アラームランプが消灯すれば、再起動は完了です。**再表示** をクリックしてください。

ADSL ランプ、PPP ランプが緑色に点灯した後で、VoIP ランプが緑色に点灯すれば、IP 電話が利用可能となります。

3-5 電話の使用方法

電話機で発着信を行う方法を説明します。

3-5-1 発信（電話をかけるには）

本商品の電話機ポートには、加入電話回線で使用している電話機またはファクスを使用することができます。

1 電話機のハンドセットを取りあげます。

ハンドセットから「ツー」という発音音が聞こえます。



お知らせ

本商品の本体前面のVoIPランプが緑色に点灯していればIP電話がご利用可能です。消灯時でも加入電話はかけられます。加入電話からかけるときは、相手の電話番号の前に「0000」（ゼロを4回）をダイヤルした後におかけになりたい電話番号をダイヤルしてください。

2 相手の電話番号をダイヤルボタンで押します。



IP電話の場合には、呼び出し音の前に「プッ、プッ、プッ、プッ」の音が聞こえます。



お知らせ

ダイヤル番号によっては、加入電話のみからの発信となります。（例：110などの緊急電話など）



お知らせ

IP電話経由で接続ができない相手にダイヤルした場合は、自動的に加入電話から発信されることがあります。この場合、ダイヤル後の短い「プッ、プッ、プッ、プッ」音の後に長い「プー」音が聞こえます。



お知らせ

IP電話ではなく、加入電話をご利用になりたい場合は、相手の電話番号の前に「0000」（ゼロを4回）をダイヤルした後におかけになりたい電話番号をダイヤルしてください。



お知らせ

相手の電話番号の後に「#」をダイヤルすることで、即時発信が行えます。

3 相手の方が出たら、お話しください。



お知らせ

IP電話が利用できない場合、エラー音が聞こえます。加入電話から発信される場合は一旦ハンドセットを置き、「0000」（ゼロを4回）をダイヤルした後におかけになりたい電話番号をダイヤルしてください。

4 お話しが終わりましたら、ハンドセットを置きます。



お知らせ

本商品に電源が供給できない状態や、IP電話機能が使用できない状態（VoIPランプが緑色に点灯していない状態）でも、電話機ポートに接続されている電話機の発信を、加入電話回線に対して行うことができます。



お知らせ

加入電話から発信した場合、加入電話回線を利用した場合の電話料金がかかります。



お知らせ

本商品に接続する電話機は端末審査協会適合マークがついているものをご使用ください。本商品の電話機ポートは擬似的にアナログ電話回線と同様の環境を作っています。実際のアナログ電話回線とは異なるので通信機器によっては使用できない場合があります。



お知らせ

相手の電話番号の前に「0000」（ゼロを4回）をつけることにより加入電話回線を利用した発信となります。



お知らせ

続けて電話をご利用になる場合は、ハンドセットを3秒以上置いた後にダイヤルしてください。



お知らせ

ハンドセットを取りあげたまま、しばらくダイヤルボタンを押さなければ受話器外れ警告音が鳴ります。



お知らせ

IP電話からファクスあるいはアナログモデム通信を行うと、失敗する場合があります。通信が失敗した場合でも失敗するまでの通信に対して利用料金がかかります。確実に通信したい場合は、相手の電話番号の前に「0000」（ゼロを4回）をつけて加入電話をご利用ください。



お知らせ

相手の電話番号の前に「186」を付けて発信した場合は、発信者番号を相手側に通知します。「186」または「184」を付けずに発信する場合、基本設定画面の[発信者番号通知]の設定内容によって決まります。相手の電話番号の前に「0000」（ゼロを4回）を付けて加入電話へ発信した場合の[発信者番号通知]の条件は、当社との契約によって決まります。



お知らせ

本商品の本体前面のVoIPランプが緑色で点滅した場合はIP電話への発信、橙色に点滅した場合は加入電話への発信です

3-5-2 着信（電話をうけるには）

加入電話回線、IP電話を通じて着信があると、電話機ポートに接続した電話機またはファクスなどに着信します。そのときは、電話機ポートに接続された電話機またはファクスなどから着信音が鳴ります。

1 電話機の着信音が鳴ります。



お知らせ

本商品の本体前面のVoIPランプが緑色に点滅した場合はIP電話からの着信、橙色に点滅した場合は加入電話からの着信です。

2 電話機のハンドセットを取り上げて、相手の方とお話してください。

3 お話が終わりましたら、ハンドセットを置きます。



お知らせ

本商品に電源が供給できない状態や、IP電話機能が使用できない状態（VoIPランプが緑色に点灯していない状態）でも、加入電話回線での通話を行うことができます。



お知らせ

加入電話でキャッチホン契約をされている場合、加入電話でのキャッチホンサービスは従来どおりご利用できます。IP 電話通話中に加入電話からの着信があった場合にはキャッチホン契約のあり・なしに関わらず、加入電話着信通知音が聞こえます。この場合、電話機をフッキングすることで、IP 電話通話を切断し、加入電話に切り替えることができます（擬似キャッチホン）。



お知らせ

ナンバー・ディスプレイ対応の電話機をご利用の場合、IP 電話着信時に相手先電話番号を表示することができます。

通話状態	IP 電話中	加入電話通話中
話中状態 IP 電話からの着信	お話し中。	お話し中。
加入電話からの着信	VoIP ランプが緑色と橙色に点滅し、第二割り込み音が聞こえます。フッキングで IP 電話を切断してから、加入電話の通話に切り替わります。加入電話の通話に切り替わったら、VoIP ランプは橙色に点滅します。	割り込み音が聞こえ、フッキングで着信に応答できます。再度フッキングすると、元の相手との通話になります。 (NTT キャッチホンサービス) *

* ご使用の加入電話がキャッチホンサービスの契約をしている場合

割り込み音 : 「ツーツー、プブッ、プブッ」という音が聞こえます。現在の通話を保留し、かかってきた電話に切り替えることができます。

第二割り込み音 : 「ブルブルル、ブルブルル」という音が聞こえます。フッキングにより現在の通話を切断し、かかってきた通話に切り替えることができます。



お知らせ

ナンバー・ディスプレイ対応の電話機をご利用の場合、IP 電話着信時に相手先電話番号を表示することができます。

3-6 機器状態・ログ

通信が途切れた時など、障害の有無を参照することができます。
また、ログ内容により機器状態の変化を知ることができます。



お知らせ

ADSL 回線状態で表示されるリンク速度は、実際のスループットとは異なります。

1 メニューフレームの 機器状態・ログ をクリックしてください。

操作フレームに機器状態・ログの画面が表示されます。

機器状態・ログ

機器状態情報

PPPoEの状態
[接続先 1 (Flets ADSU)] 確立 (AC=xxxxxx/xxxxxx)
[接続先 2 (FletsSquare West)] 停止中

PPPの状態
[接続先 1 (Flets ADSU)] 確立
WAN IP : xxx.xxx.xxx.xxx
Peer IP : xxx.xxx.xxx.xxx
DNS Server : xxx.xxx.xxx.xxx (Primary)
 : xxx.xxx.xxx.xxx (Secondary)

[接続先 2 (FletsSquare West)] 停止中

ADSL回線状態 通信中 (上) 512 Kbps 下) 1536 Kbps)
Unknown (上) 16 dB 下) 15 dB)

LANリンク状態 LAN 通信中 (100Mbps 全二重)

ハードウェア状態 正常

IP電話情報

IP電話状態 接続中

TEL1
使用状況 未使用
接続先電話番号 -
接続先IPアドレス -
接続時間 -

ログ情報

機器状態情報では、以下の情報が参照できます。

● [機器状態情報]



お知らせ

PPPoEのセッションを複数接続する設定を行っている場合は、それぞれの接続先に対してPPPoEの状態とPPPの状態が表示されます。

- PPPoE の状態
PPPoE による接続の状況が表示されます。
「確立」 セッションが確立しています。
「AC 選択中」 PPPoE サーバの選択中です。
「AC 探索中」 PPPoE サーバの探索中です。
「停止中」 停止しています。
- PPP の状態
PPP の進行状態が表示されます。
「確立」 PPP リンクが確立しています。

「IPCP 中」 IP アドレス取得中です。
「LCP 中」 認証方法の確認および認証中です。
「停止中」 停止しています。



お知らせ

PPPが確立した場合、次の情報が合わせて表示されます。

ADSL IP: ADSL側IPアドレス
Peer IP: 相手IPアドレス
DNS Server: DNSサーバIPアドレス

・ADSL 回線状態

現在使用中の ADSL 回線の状態が表示されます。

「通信中」 局側装置との ADSL リンクが確立しています。
接続モード (Quad Spectrum/G.dmt Annex I/G.dmt Annex C/G.dmt Annex C(FBMSOL)/G.lite Annex C) と上り、下りのリンク速度、ノイズマージンも表示されます。
「拡張自動設定中」 .. 拡張自動設定の実行中です。拡張自動設定が完了するまでは、インターネットへの接続はできません。
「トレーニング中」 .. 局側装置と接続を確立するためのトレーニングを実行中です。
「接続待ち」 局側装置の応答待ちです。
「アイドル」 停止しています。

・ADSL 接続の拡張自動設定の結果

ADSL 接続の拡張自動設定を実行した後に、接続モードごとの上り、下りのリンク速度が表示されます。拡張自動設定で選択された接続モードは、赤字で表示されます。リンクアップしなかった接続モードについては、上り、下りのリンク速度の欄に“-”が表示されます。

なお、拡張自動設定の実行中は「動作中」と表示されます。また、拡張自動設定を実行していない場合や、拡張自動設定の結果が保存されていない場合は「結果なし」と表示されます。



お知らせ

ADSL接続の拡張自動設定については取扱説明書（詳細編）の「ADSL設定（NATルータ）」、「ADSL設定（ブリッジ）」を参照してください。

・LAN リンク状態

現在の Ethernet LAN インタフェースのリンク状態が表示されます。

「通信中」 接続が確立しています。
現在の動作モード (10Mbps/100Mbps、全二重/半二重) も合わせて表示されます。
「停止中」 接続機器とのリンクが確立していません。
「異常」 何らかの異常が発生し、停止しています。

・ハードウェア状態

本商品のハードウェア状態が表示されます。

「正常」 ハードウェアに問題はありません。
「異常」 何らかの異常が検知されています。

● [IP 電話情報]

IP 電話の現在の状態を表示します。

- IP 電話状態
 - 「使用不可」 何らかの異常が発生し、停止しています。
 - 「接続待ち」 IP 電話サーバに接続待ちです。
 - 「接続中」 IP 電話サーバに接続中です。
 - 「使用可能」 IP 電話サーバに接続が確立しています。
- IP 電話番号
 - 電話機ポートに割り当てられた電話番号を表示します。
- 使用状況
 - 「IP 電話中」 IP 電話を使用しています。
 - 「加入電話中」 加入電話を使用しています。
 - 「未使用」 電話を使用していません。
- 接続先電話番号
 - IP 電話使用中に接続先の電話番号を表示します。
- 接続先 IP アドレス
 - IP 電話使用中に接続先の IP アドレスを表示します。
 - 未使用の場合は「-」を表示します。
- 接続時間
 - IP 電話、加入電話使用中において、現在の接続の累計時間を表示します。
 - 未使用の場合は「-」を表示します。

ログ情報には、起動直後からメモリ上に蓄積されているログの内容が、最新のものから順に表示されます。



お知らせ

局側装置によっては、機器起動時点を0時とする相対時刻で表示されている場合があります。この場合は、取扱説明書（詳細編）の「時刻設定」を参照してください。



お知らせ

時刻設定が行われるまでに再起動を繰り返した場合、1970年を起点とした日時にログが残ることがありますが、異常ではありません。



お知らせ

最大200件までのログが蓄積されます。
200件を越えると、古いものから順に削除されます。



お知らせ

本商品で使用する加入電話回線の回線種別を示すため、起動／再起動の直後に「電話回線ダイヤル種別」とログが記録されます。（「電話回線ダイヤル種別」の後に、「PB」、「DP 20pps」、または、「DP 10pps」のいずれかが表示されます。）「基本設定」の電話回線ダイヤル種別で「自動認識」を選択されている場合は、実際の回線ダイヤル種別に関わらず、「電話回線ダイヤル種別 PB」が先に記録されます。回線ダイヤル種別が「DP 20pps」や「DP 10pps」の場合は、その後に「電話回線ダイヤル種別 DP 20pps」／「電話回線ダイヤル種別 DP 10pps」とログが記録されます。後に記録された「電話回線ダイヤル種別」のログに表示されている種別が有効になっています。

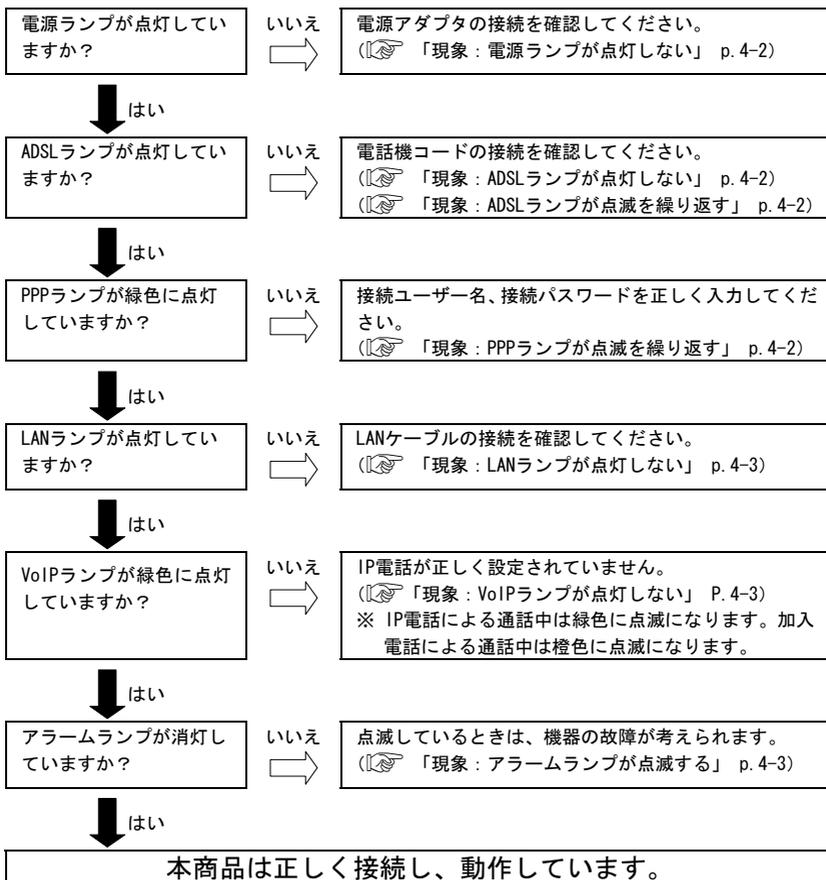
4 付録

4-1 故障かなと思ったら

トラブルが発生した場合には、以下の点を確認して障害箇所を明確にしてから、本章をお読みください。

- ・ 本体前面にあるランプの点灯、点滅状態を確認する。（以下の確認手順を参照のこと）
- ・ Web ブラウザから本商品へのアクセスできることを確認する。
- ・ ご加入のプロバイダのホームページへアクセスできることを確認する。
- ・ 電話機やファクスが使用できることを確認する。

本商品の本体前面ランプの確認手順



現象：電源ランプが点灯しない

原因：本商品に電源が供給されていません。

対処：電源アダプタが本商品に接続されていることを確認してください。

対処：電源アダプタ（電源プラグ）がコンセントに確実に接続されていることを確認してください。

対処：コンセントに電源が来ている（通電している）ことを確認してください。

対処：本商品用の電源アダプタであることを確認してください。

現象：ADSLランプが点灯しない

原因：電話局側のADSL信号が検出できません。

対処：ADSLサービスが開始されていることを確認してください。または、ADSLサービスをご契約された電話回線に接続されていることを確認してください。

原因：電話回線が正しく接続されていません。

対処：ADSLスプリッタのMODEMポート（ADSLポート）と、本商品のADSLポート（黒）が、電話機コード（黒）で正しく接続されていることを確認してください。

対処：ADSLスプリッタと壁のモジュラジャックが、ADSLスプリッタの電話機コード（白）で正しく接続されていることを確認してください。

現象：ADSLランプが点滅を繰り返す

原因：ADSLリンクの確立（トレーニング）を行っています。（1秒周期で点滅）

対処：電話回線が確実に接続されていることを確認してください。

原因：ADSL接続の拡張自動設定機能が実行中です。（この場合は、PPPランプも橙色に点滅しています。）

対処：ADSL接続の拡張自動設定が完了するまで（最大20分程度）お待ちください。

原因：電話機コードにノイズが加わりやすくなっています。

対処：電話機コードに、他の電線がからまないようにしてください。

原因：ADSL接続モードが、ご使用の環境により、局側装置と接続できない設定になっています。

対処：ADSL接続モードを「自動設定」に設定してください。

現象：ADSLランプが不定期に点滅を繰り返す

原因：ADSL側で通信が発生した場合は一瞬消灯します。

対処：トラブルではありません。

現象：PPPランプが点滅を繰り返す

原因：PPPリンクが確立していません。もしくは初期設定のままで起動しています。

対処：プロバイダの接続ユーザー名、接続パスワードを正しく設定してください。

原因：同時接続セッションの契約数以上に接続しようとしています。

対処：使用する必要がないPPPoEセッションを切断してください。

原因：ADSL接続の拡張自動設定機能が実行中です。（この場合は、ADSLランプも緑色に点滅しています。）

対処：ADSL接続の拡張自動設定が完了するまで（最大20分程度）お待ちください。

現象：PPP ランプが点灯しない

原因：接続先 1（メインセッション）が切断されています。

対処：接続先 1 を接続する。

現象：LAN ランプが点灯しない

原因：LAN ポートが正しく接続されていません。

対処：背面の LAN ポートは、付属している LAN ケーブル（ストレート）でパソコンと直接接続できる仕様になっています。ハブなどと接続する場合は、ハブのアップリンクポートに接続するか、または別売りのクロスケーブルで接続してください。

対処：LAN ケーブルが正しく接続されていることを確認してください。

対処：パソコンやハブ側のインタフェース設定を、10Mbps 半二重固定モードにしてください。

現象：LAN ランプが不定期に点滅を繰り返す

原因：LAN 側で通信が発生した場合は点滅します。

対処：トラブルではありません。

現象：VoIP ランプが点灯しない

原因：IP 電話の設定が正しく行われていません。

対処：IP 電話の設定を確認し、再度 IP 電話の設定を行ってください。

原因：IP 電話サーバとのリンクが確立していません。

対処：IP 電話サーバがダウンしています。ご契約されているプロバイダにご相談ください。

現象：VoIP ランプが点滅を繰り返す

原因：IP 電話で発信中／着信呼び出し中／通話中は緑色に点滅します。また、加入電話で発信中／着信呼び出し中／通話中は橙色に点滅します。

対処：トラブルではありません。

現象：アラームランプが点滅する

原因：機器の故障が考えられます。

対処：お買い求めになった販売店、またはサービス取扱所にご相談ください。なお、電源投入時にはアラームランプが一時的に点灯します。

現象：ログインパスワードを忘れた

対処：本商品の初期設定のユーザー名は「user」、パスワードは「user」です。「4-2-1 初期設定での起動方法」（p. 4-7）を参照し、初期値に戻して起動してからアクセスし、もう一度、ログインユーザー名、パスワードの設定を行ってください。

現象：本商品の IP アドレスを忘れた

対処：本商品の DHCP サーバ機能をご使用の場合には、「http://ntt.setup/」でアクセスができます。DHCP サーバ機能を使用していない場合に IP アドレスを忘れてしまった場合は、 「4-2-1 初期設定での起動方法」 p. 4-7）を参照し、初期値（192.168.1.1）に戻してからアクセスし、もう一度、本商品の設定を行ってください。

現象：Web ブラウザで本商品へのアクセスができない

原因：パソコンに適切な IP アドレスが割り当てられていません。

対処：パソコンの IP アドレスを確認し、適切でなければ IP アドレス情報を更新してください。（ 「2-2 IP 設定の確認」 p. 2-9）

対処：本商品の他に DHCP サーバが存在する場合は、本商品もしくは該当装置の DHCP サーバ機能を停止してください。

原因：本商品が起動中（セルフテスト中）です。

対処：モデムの起動を確認してから、再度アクセスしてください。

原因：Web ブラウザが正しく設定されていません。

対処：お使いの Web ブラウザがプロキシを使用しない設定になっていることを確認してください。

対処：お使いの Web ブラウザが JavaScript を使用する設定になっていることを確認してください。

原因：本商品との通信ができない状態になっています。

対処：本商品を再起動してください。

対処：パソコンを再起動してください。

現象：http://ntt.setup/でアクセスできない。

原因：本商品がパソコンに指定されている DNS サーバアドレスとして指定されていません。

対処：パソコンの IP アドレスや DNS サーバアドレスを、本商品の DHCP サーバ機能を使って取得してください。（手動で IP アドレスを設定する場合や、本商品以外の DHCP サーバ機能を使って IP アドレスを取得する場合は、本商品に設定した IP アドレスでアクセスしてください。）

現象：インターネットにアクセスできない

原因：PPP リンクが確立していません。

対処：前面の PPP ランプが緑色に点灯していることを確認してください。（接続先 1 の場合）

対処：機器状態・ログの画面で、[PPPoE の状態]および[PPP の状態]が「確立」となっていることを確認してください。

対処：機器の電源を切ったり、ADSL リンクが切断されたりして PPPoE が強制的に切断されると、しばらくの間、PPP リンクが再確立できない場合があります。10 分間くらい待ってください。

原因：接続先との通信ができない状態になっています。

対処：本商品を再起動してください。

対処：パソコンを再起動してください。

現象：インターネットへのアクセスが遅くなった

原因：接続先のサーバが混んでいる可能性があります。

対処：しばらく時間をおいてから、アクセスしてください。

原因：接続先のプロバイダやインターネット上の経路が、他の通信で混んでいる可能性があります。

対処：しばらく時間をおいてから、アクセスしてください。

原因：ADSL 回線がノイズの発生などの外乱を受け、リンク速度が低下している可能性があります。

対処：Web ブラウザメニューにある「ADSL 再接続」を適宜実行してみてください。

現象：電話のハンドセットから一切音が聞こえない

原因：電話機の電源が入っていません。

対処：ご使用の電話機が本商品に正しく接続されていることを確認し、電話機の電源を入れてください。

現象：電話機からダイヤルしてもダイヤル音が聞こえない

原因：ご使用の電話機に設定してある回線ダイヤル種別、本商品が認識し使用している回線ダイヤル種別と、加入電話回線の回線ダイヤル種別が一致していません。

対処：ADSL スプリッタの PHONE ポート (TEL ポート) と、本商品の電話回線ポート (灰) を、電話機コード (灰) で正しく接続されていることを確認し、基本設定の画面で、[電話回線ダイヤル種別] を「自動認識」に設定して、本商品を再起動してください。

対処：ご使用の電話機の回線ダイヤル種別を確認して、加入電話回線の回線ダイヤル種別にあわせて設定してください。

原因：本商品が、ご加入の電話回線のダイヤル種別を正しく認識できていません。

対処：本商品の電話回線ダイヤル種別を、ご加入の電話回線のダイヤル種別にあわせた設定（「PB」、「DP 20pps」、または「DP 10pps」）にしてください。

現象：IP 電話が使用できない

原因：IP 電話の設定が正しく行われていません。

対処：IP 電話設定の設定内容が、適切に設定されていることを確認してください。
(☞ 「3-6 機器状態の確認」 p. 3-15)

現象：ナンバー・ディスプレイ（ネーム・ディスプレイ）が正しく表示されない

原因：電話機コードの結線が正しくありません

なお、ナンバー・ディスプレイ（ネーム・ディスプレイ）以外にも以下の現象が発生する可能性があります。

- ・ 加入電話からの着信時に、電話機の着信音が鳴りません。
- ・ Lモードで、メール着信時に「メッセージ到着お知らせ機能」が動作せず、メッセージなどが表示されません。
- ・ モデムダイヤルインが正しく動作せず、加入者電話番号への着信時に、個別呼び出しができません。

対処：以下の方法を実施してください。

基本設定画面の[使用する電話機]の項目で、「ナンバー・ディスプレイあり(設定 A)」、「ナンバー・ディスプレイあり(設定 B)」の設定を切り替えてください。

現象：電話機から「ピッ、ピッ、ピッ、ピッ」と音がする。

原因：自動アップデート用のサーバから、新しいファームウェアの更新があることをお知らせしています。

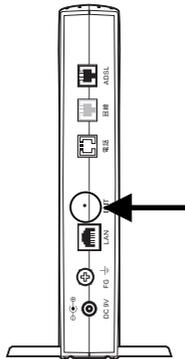
対処：自動アップデートを実行してください。（ 「4-3 自動アップデート」 p. 4-8）

4-2 初期化方法

4-2-1 初期設定での起動方法

本商品に設定した LAN 側 IP アドレス (NAT ルータ) / モデム用 IP アドレス (ブリッジ) や、ログインユーザー名、パスワードを忘れてしまったり、アクセス制限設定や、パケットフィルタ設定で誤った設定をしたりして、本商品へのアクセスができなくなった場合は、初期設定に戻して起動することにより、本商品にアクセスできるようになります。

- 1 本商品に電源を入れた状態で、本体背面にある 初期設定起動スイッチ (INIT) を前面の ADSL、PPP、LAN およびアラームの各ランプが点滅するまで約 5 秒間押してください。



本商品のフラッシュメモリに書き込まれている設定情報を初期化して、初期設定で再起動します。



お知らせ

初期設定をフラッシュメモリに書き込んでから再起動します。設定の書き込み中は、前面の ADSL、PPP、LAN、およびアラームの各ランプが点滅します。再起動するまで本商品の電源を切らないようにしてください。フラッシュメモリへの書き込み中に電源を切ると、本商品が動作しなくなります。



お知らせ

初期設定で起動した場合は、PPPランプが橙色に点滅します。(ADSLのトレーニングが開始されると、消灯します。)

4-3 自動アップデート

ファームウェアを自動的にバージョンアップすることができます。インターネットに接続している状態で、インターネット上のサーバに更新すべきファームウェアがあるかどうかを自動的に確認します。管理メニューから、随時実施することも可能です。ファームウェアの更新の確認や、バージョンアップを実行するための操作は、管理メニューや、本商品に接続している電話機から行います。ファームウェアの更新がある場合は、自動アップデートの画面に表示され、本商品に接続されている電話機のハンドセットを取りあげた場合に更新通知音で通知します。自動アップデートには、管理メニューから操作する方法と、本商品に接続されている電話機から「***11」をダイヤルする方法があります。

お願い

自動アップデートを使用するには、あらかじめ IP 電話設定画面の[ソフトウェアアップデート確認用 URL]の項目に、プロバイダから指示された URL を設定しておく必要があります。(IP 電話の設定をプロバイダの Web ページから自動的に行っている場合は、[ソフトウェアアップデート確認用 URL]の項目は自動的に設定されています。変更しないでください。)詳しくは、「3-4 IP 電話に関する設定方法」( p. 3-8)を参照してください。

お知らせ

自動アップデートを実施した場合、すでに設定された内容はそのまま残りますので、再度設定を行う必要はありません。

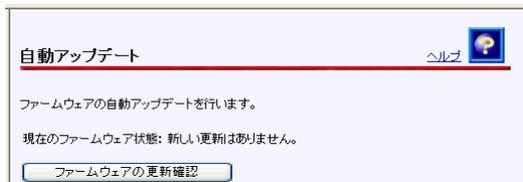
お知らせ

ファームウェアの更新がある場合、本商品に接続されている電話機のハンドセットを取りあげると「ピッピッピッピッ」という更新通知音の後、「ツー」という発信音が聞こえます。

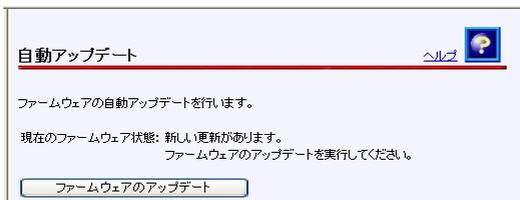
管理メニューからファームウェアの更新確認を行う場合

1 メニューフレームの 自動アップデート をクリックしてください。

ファームウェアに更新がない場合は、次のような画面が表示されます。



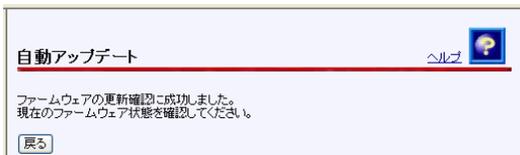
ファームウェアに更新がある場合は、次のような画面が表示されます。



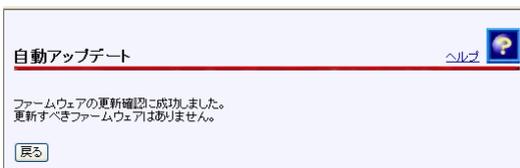
- 2 ファームウェアに更新がない場合は、**ファームウェアの更新確認** をクリックしてください。

更新確認に成功した場合は、次のような画面が表示されます。

戻る をクリックすると、現在のファームウェア状態が表示されます。

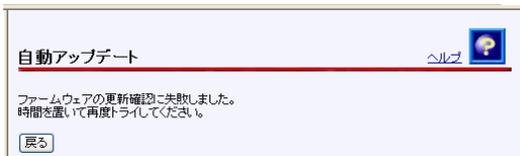


本商品に最新のファームウェアが登録されている状態では、次のような画面が表示されます。



更新確認に失敗した場合は、次のような画面が表示されます。

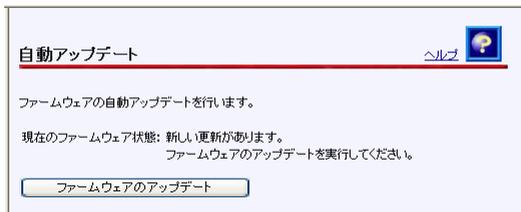
戻る をクリックして、再度更新確認を行ってください。



管理メニューから自動アップデートを行う場合

- 1 ファームウェアに更新がある場合は、自動アップデートの画面で **ファームウェアのアップデート** をクリックしてください。

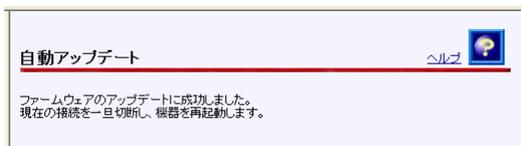
本商品へのファームウェア転送が行われます。



STOP お願い

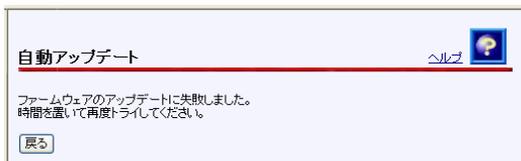
ファームウェアをフラッシュメモリに書き込みます。書き込み中は、前面のADSL、PPP、LANおよび、アラームの各ランプが点滅します。ランプの点滅が終わるまでは、本商品の電源を切らないようにしてください。フラッシュメモリへの書き込み中に電源を切ると、本商品が動作しなくなります。

- 2 本商品のファームウェア転送が完了すると、次の画面が表示されて自動的に再起動が行われます。



アップデートに失敗した場合は、次のような画面が表示されます。

戻る をクリックして、再度アップデートを行ってください。



- 3 本商品の再起動が完了したら、メニューフレームの **バージョン情報** をクリックしてください。

操作フレームにバージョン情報の画面が表示されます。



本商品に接続されている電話機から自動アップデートを行う場合

- 1 ファームウェアに更新がある場合は、本商品に接続されている電話機からハンドセットを取りあげて「***11」をダイヤルしてください。

本商品へのファームウェアの転送が行われます。



お願い

ファームウェアをフラッシュメモリに書き込みます。書き込み中は、前面のADSL、PPP、LANおよび、アラームの各ランプが点滅します。ランプの点滅が終わるまでは、本商品の電源を切らないようにしてください。フラッシュメモリへの書き込み中に電源を切ると、本商品が動作しなくなります。



お願い

電話機からの自動アップデートは、電話回線で使用しているダイヤル種別が「PB」の場合のみ使用できます。ダイヤル種別が「DP (10pps/20pps)」の場合、または電話機がプッシュ信号を送出できない場合は使用できませんので、管理メニューからバージョンアップを実施してください。（電話機の「PB」ボタンを使用してダイヤルしても、自動アップデート機能は動作しません。）



お知らせ

ファームウェアのアップデート操作を受け付けると、本商品に接続されている電話機のハンドセットから「ブブ」という音が聞こえてダウンロードが開始されます。



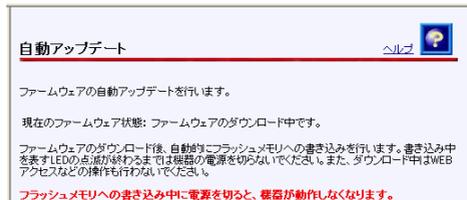
お知らせ

更新がない場合に、本商品に接続されている電話機のハンドセットを取りあげて「***11」をダイヤルすると、「ブー、ブー、ブー、ブー・・・」という音が連続して聞こえます。ハンドセットを置いてください。



お知らせ

ダウンロード中に管理メニューを操作すると、次のような画面が表示されます。



- 2 本商品のファームウェア転送が完了すると、自動的に再起動が行われます。

- 3 本商品の再起動が完了したら、メニューフレームの バージョン情報 をクリックしてください。

操作フレームにバージョン情報の画面が表示されます。



4-4 バージョンアップ

本商品は、ファームウェアをバージョンアップすることにより、機能強化を図ることが出来ます。

STOP® お問い合わせ

使用している画面表示は、ご使用の Web ブラウザや OS のバージョンによって異なりますが、手順や、入力する内容は変わりません。

- 1 提供されたファームウェアファイルをパソコン上の適当なディレクトリ（フォルダ）に置いてください。



お知らせ

ファームウェアファイルのディレクトリ（フォルダ）名には半角英数記号文字を使用し、全角文字および半角カナを使用しないでください。ファームウェアのバージョンアップができないことがあります。

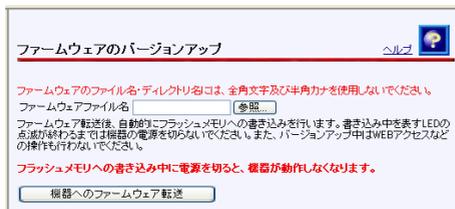


お知らせ

ディレクトリ（フォルダ）名には、¥ / : * ? " < > | は使用できません。

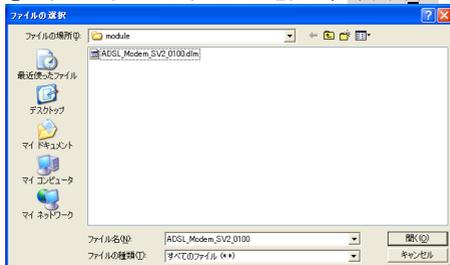
- 2 メニューフレームの バージョンアップ をクリックしてください。

操作フレームにファームウェアのバージョンアップの画面が表示されます。

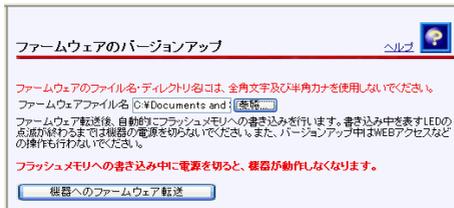


- 3 ファームウェアファイル名を選択してください。

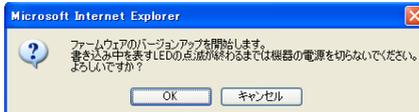
- ① **参照…** をクリックしてください。
ファイル選択ダイアログが表示されます。
- ② 「ファイルの種類(T)」欄に「すべてのファイル(*.*)」を指定し、ファームウェアファイルを置いたディレクトリ（フォルダ）に移動してください。
- ③ ファームウェアファイルを選択し、**開く(O)** をクリックしてください。



ファームウェアファイル名欄にファイル名が表示されます。

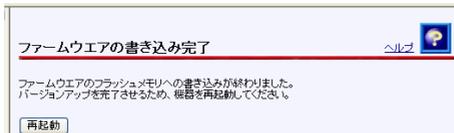


- 4 **機器へのファームウェア転送** をクリックしてください。



継続する場合は、**OK** をクリックしてください。

本商品へのファームウェア転送が行われ、機器のファームウェア転送完了の画面が表示されます。



STOP **お願い**

ファームウェアをフラッシュメモリに書き込みます。書き込み中は、前面のADSL、PPP、LANおよびアラームの各ランプが点滅します。ランプの点滅が終わるまでは、機器の電源を切らないようにしてください。フラッシュメモリへの書き込み中に電源を切ると、本商品が動作しなくなります。

- 5 **再起動** をクリックしてください。

新しいファームウェアで本商品が起動します。



お知らせ

本商品には、補助記憶装置としてフラッシュメモリを内蔵しています。各種設定内容（時刻設定を除く）やファームウェアは、フラッシュメモリに書き込むことで電源供給が途切れても内容が保持されます。

- 6 **機器の再起動が完了したら、メニューフレームのバージョン情報** をクリックしてください。

操作フレームにバージョン情報の画面が表示されます。

4-5 仕様一覧

ADSLモデム-SV II

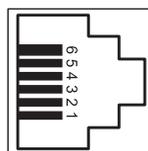
項目	仕様
ADSLインタフェース	
ポート数	1ポート
準拠規格	Quad Spectrum方式 ITU-T G. 992.1 Annex I / Annex C ITU-T G. 992.2 Annex C
物理インタフェース	RJ-11コネクタ
加入電話インタフェース	
ポート数	1ポート
回線種別	2線式アナログ
物理インタフェース	RJ-11コネクタ
LANインタフェース	
ポート数	1ポート
準拠規格	IEEE802.3、IEEE802.3u
MDI/MDI-X	MDI-X固定 (パソコンとストレートケーブルにて直接接続できる設定)
通信速度	10Mbps/100Mbps (オートネゴシエーション)
伝送方式	全二重/半二重 (オートネゴシエーション)
物理インタフェース	RJ-45コネクタ
電話機インタフェース	
ポート数	1ポート
回線種別	2線式アナログ
物理インタフェース	RJ-11コネクタ
IP電話	
準拠規格	RFC3261 (SIP) およびRFC2327 (SDP)
音声コーデック	ITU-T G. 711
電源	外付けAC電源アダプタ方式
外形寸法	約 39mm (W) × 176mm (D) × 223mm (H) (縦置き台を閉じた状態)
質量	約 550g
動作温度	5 ~ 40°C
動作湿度	5 ~ 85% (結露なきこと)
情報処理装置など電波障害規制 (VCCI)	クラスB技術基準認定品

本商品の OS には米国 Wind River Systems, Inc. の VxWorks を採用しています。

・インタフェース

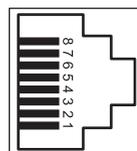
● ADSLポート、電話機ポート、電話回線ポート

ピン番号	略称	入出力
1	—	未使用
2	—	未使用
3	L2	入力／出力
4	L1	入力／出力
5	—	未使用
6	—	未使用



● LANポート (100BASE-TX、10BASE-T)

ピン番号	略称	入出力
1	RD+	入力
2	RD-	入力
3	TD+	出力
4	—	未使用
5	—	未使用
6	TD-	出力
7	—	未使用
8	—	未使用



電源アダプタ

項目	仕様
外形寸法	約 57mm (W) × 82mm (D) × 49mm (H)
質量	約 630g
電源	AC100V±10% (50/60 Hz)
出力電圧	DC9V

ADSL スプリッタ

項目	仕様
收容回線	1回線
外形寸法	約 43mm (W) × 58mm (D) × 24mm (H) (突起部は除く)
質量	約 50g
動作温度	5 ~ 40°C
動作湿度	5 ~ 85% (結露なきこと)

スプリッタセットに付属しています。

ADSL (Asymmetric Digital Subscriber Line)

電話局から各家庭や事業所まで引かれている、銅線の加入者電話回線 (Subscriber Line) を利用して、数 Mbps の高速データ通信を可能にする通信方式。

ADSL リンク

ADSL による電話局から各家庭や事業所に置かれたモデムまでの間の通信経路。

Annex C (G. 992.1 G. 992.2 Annex C)

G. 992.1 (G. dmt) G. 992.2 (G. lite) の日本仕様 (北米仕様 : Annex A、欧州仕様 : Annex B)。G. 992.1 や G. 992.2 を国内で使用すると、ISDN からのノイズによりリンク速度や伝送距離の低下が起こることがあるため、それらの問題を解決するための追加仕様。ISDN からのノイズを考慮して、ISDN のピンポン伝送の周期に同期してリンク速度を変化させる技術。

Annex I (G. 992.1 Annex I)

G. 992.1 Annex C で使用している伝送周波数帯域の拡張などにより、下り最大 20Mbps 以上のリンク速度を実現させるための技術。

bps (bit per second)

データ伝送速度の単位。一秒間に伝送されるビット数。「bit/s」と表示されることもあります。

DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol)

通信機器に対して、IP アドレスやネットマスクなどのネットワーク設定を自動的に割り当てるための機能。

DHCP サーバ

DHCP 機能を持つサーバ。

DNS (Domain Name System)

インターネット上で、各コンピュータ端末が持つホスト名から、その端末の IP アドレスを検索するためのシステム。

DNS サーバ (ドメインネームサーバ、ネームサーバ)

DNS 機能を持つサーバ。

Ethernet (イーサネット)

米国 XEROX 社によって開発された LAN の通信方式。IEEE802.3 で規定された CSMA/CD 方式と同等な通信手段。使用するケーブルやリンク速度によって「10BASE-T」「100BASE-TX」という呼び方もある。常時双方向の通信が可能な「全二重」と、送信と受信を交互に切り替える「半二重」がある。

FBMsOL (FBM shaped Over Lap)

G. 992.1 では上りの伝送として使用されるように定義されている周波数領域を下りの伝送にも使用することにより、遠距離において、下りの伝送速度を向上させるための技術。

G. 992.1 規格 (G. dmt)

ITU-T で決められた加入電話用の ADSL 規格。最大リンク速度は、上り 640kbps、下り 6144kbps と決められていたが、仕様の拡張により、それ以上のリンク速度で ADSL 回線を使用することができる。

G. 992.2 規格 (G. lite)

ITU-T で決められた加入電話用の ADSL 規格。最大リンク速度は、上り 512kbps、下り 1536kbps。

IP アドレス

TCP/IP を使ったネットワーク上に接続されたコンピュータなどを識別するためのアドレス。32bit の値を持ち、8bit ずつ 10 進法で表現した数値を、ピリオドで区切って表現する。(例：192.168.1.1)

参考 ● グローバル IP アドレス、プライベート IP アドレス

ITU-T (International Telecommunication Union Telecommunication standardization sector)

ITU (国際電気通信連合) の電気通信標準化部門。通信関連の標準化を定める国際機関。ITU-T が作成する標準化勧告を ITU-T 勧告と呼ぶ。

LAN (Local Area Network)

会社、組織、学校、工場、ビル、フロアなど、ある限定された範囲に敷設されたコンピュータ通信のためのネットワーク。距離、伝送路、トポロジ、プロトコルの明確な定義はないが、一般的には伝送距離が数 m～数十 km、リンク速度は 1M～数 Gbps 程度である。

ケーブルや無線などの伝送媒体を複数のコンピュータで共用し、互いに独立した通信を実行できる。

参考 ● WAN (Wide Area Network)

NAT (Network Address Translation)

RFC1631 で規定するアドレス変換の方式。

ルータに NAT を搭載することで、プライベート IP アドレスとグローバル IP アドレスを変換する。本商品では、さらにポート番号を変換する機能を持つため、プロバイダの IP 接続サービスで割り当てられた 1 個の IP アドレスを、LAN 上にある複数台のパソコンで共有できるようになる。

PPP (Point to Point Protocol)

シリアルラインを使って通信するためのデータリンク層プロトコル。

リンク状態 (使用しているモデムや回線の状態) に応じた再接続、両端で使用する IP アドレスの自動的なネゴシエーション、認証機能などを持つ。

PPPoE (PPP over Ethernet)

Ethernet 上で PPP のパケットを使用して、Ethernet に接続したパソコンなどから直接 PPP 接続を行うためのプロトコル。

Quad Spectrum 方式

G. 992.1 Annex C で使用している伝送周波数帯域の拡張などにより、下り最大 40Mbps 以上のリンク速度を実現させるための技術。

VoIP (Voice over IP)

TCP/IP を使ったデータ通信ネットワーク上で、加入電話やファクスの音声データを通信させる技術。VoIP を使った電話を IP 電話という。

WAN (Wide Area Network)

建物や敷地を越える遠隔地の間を接続するためのネットワーク。広域網とも呼ばれる。LAN の対比語として用いられることが多い。

参考 ● LAN (Local Area Network)

Web ブラウザ

インターネット上でホームページを見る時に使用するアプリケーション。Internet Explorer などがよく使用されている。

[あ]～[お]

インターネット

世界中に張り巡らされたコンピュータ通信のための通信網。

インターネットサービスプロバイダ

ADSL などの回線を通じてインターネットに接続するサービスを提供する業者のこと。プロバイダや ISP(Internet Service Provider)ともいう。

オートネゴシエーション (自動認識)

Ethernet の10Mbps/100Mbpsのリンク速度と、全二重/半二重の設定を自動的に選択する機能。本商品の LAN ポートは、オートネゴシエーションに対応している。

[か]～[こ]

グローバル IP アドレス (Global IP Address)

NIC (Network Information Center) などの公的機関が割り当てる、インターネット接続時に必ず必要となる IP アドレスの別名である。閉じたネットワーク内部に限り自由に利用できるプライベート IP アドレスが登場したため、反意語としてグローバル IP アドレスと呼ばれるようになった。

参考 ● プライベート IP アドレス (Private IP Address)

クロスケーブル (cross cable)

機器どうしの接続のために、一方の出力信号線を他方の入力信号線に、また一方の入力信号線を他方の出力信号線にというように結線したケーブル。

参考 ● ストレートケーブル (straight cable)

ゲートウェイアドレス (ルータアドレス)

ネットワークにおいて、同一 LAN 上に存在しないノードや、(物理的、論理的を問わず)別のネットワークに対するデータ通信を行う場合、ゲートウェイと呼ばれるノード(通常はルータ)へデータを転送する。通常、各ノードにゲートウェイを設定しておけば、そのゲートウェイが適宜ルーティングを行う。

[さ]～[そ]

ストレートケーブル (straight cable)

両端にあるコネクタの同じピンどうしを接続したケーブル。

参考 ● クロスケーブル (cross cable)

スプリッタ

ADSL のデータ信号が電話機や電話交換機に流れ込んだり、電話の音声信号が ADSL モデムに流れ込んだりすることで発生する通信障害を防ぐ。一般にスプリッタはユーザー宅と通信事業者の収容局の両方に設置する。

スループット

パソコンとインターネット内のサーバとの間で、一定時間内に中継されるデータ量。

全二重/半二重 (Full Duplex/Half Duplex)

受信と送信が片方向ずつの半二重通信 (Half Duplex) に対して、受信と送信を同時に行うことで、既存のケーブル上で実質 2 倍の伝送速度を実現するのが全二重通信 (Full Duplex) である。

[た]～[と]

トレーニング

ADSL で使用するデータ信号をモデムと局内装置の間で交換して、ユーザーの環境に応じたリンク速度を決定するためのプロセス。

[な]～[の]

ネットマスク

IP アドレスからサブネットのネットワークアドレスを求める場合に使用するマスク値のこと。IP アドレスとネットマスクの AND をとった結果が、サブネットアドレスになる。ネットマスクは、通常は上位の側から連続してビットを立てた値を用い、例えば 255.255.255.0 などとして、これをネットマスク長が 24 であると表現する。

[は]～[ほ]

ハブ

LAN ケーブルを集配するネットワーク接続機器で、複数の端末を同時に接続する場合に使用する。

半二重

参考 ● 全二重／半二重 (Full Duplex/Half Duplex)

ファームウェア

製品出荷時から機器に搭載されているソフトウェア。本商品ではフラッシュメモリに搭載されており、バージョンアップ時にはユーザー側で書き換えることができる。

プライベート IP アドレス (Private IP Address)

RFC1597 で規定されている、組織内部だけに閉じた環境だけで通用される IP アドレス。組織内ではプライベート IP アドレスを利用し、インターネットにアクセスする場合だけ本来のユニークなアドレス (グローバル IP アドレス) を割り当てる方法が一般化している。10.0.0.0～10.255.255.255、172.16.0.0～172.31.255.255、192.168.0.0～192.168.255.255 がプライベート IP アドレスとして規定されている。

参考 ● グローバル IP アドレス (Global IP Address)

ブラウザ

インターネット上でホームページを見る時に使用するアプリケーション。Internet Explorer や Netscape Navigator がよく使用されている。

フラッシュメモリ

電源を切っても内容を保持しておけるメモリチップ。

ブリッジ

データ中継装置の 1 つで、TCP/IP などのプロトコルに依存しないデータ中継を行う装置。通信端末の MAC アドレスを学習し、不要なトラフィックを自動的に廃棄する。

プロトコル

通信規約のことで、通信でデータの送受信を行うときに従うべき手順を定義したもの。

[ま]～[も]

モデム

パソコンが一般公衆回線などのアナログ回線を使用して通信を行うための装置。パソコンが扱うデジタル信号をアナログの回線で使えるように変調およびその逆の復調を行う。

[ら]～[ろ]

リンク

リンクとは2つのノード間をつなぐ部分を指す。2つのノード間が通信可能な状態になることをリンクアップという。

リンク速度

一般にリンク速度とは、通信可能な2つのノード間にデータが流れる速度を示す。ADSLのリンク速度は、モデムと局側装置の間でのトレーニング・プロセスによって決められる（上り、下りのリンク速度は非対称に決められる）が、モデムと局側装置の距離や、その間の電話回線に加わる外来ノイズの影響により上下する。

ルータ

データ中継装置の1つで、プロトコルに依存して、ネットワークアドレスに基づいてデータ中継を行う装置。プロトコル毎に決められているある手順に従ってネットワークの経路を学習し、最適な経路を使った中継を行うことができる。

ルータアドレス

参考 ● ゲートウェイアドレス

[わ]

4-7 索引

A～Z

ADSL スプリッタ 1-1, 1-6
ADSL ポート 1-3
ADSL モデム - S V II 1-4
ADSL モデム - S V II の特長 ix
ADSL モデム - S V II を接続 1-6
ADSL ランプ 1-2
ADSL 再接続 詳細編
ADSL 設定 (NAT ルータ) 詳細編
ADSL 設定 (ブリッジ) 詳細編
CD-ROM に収録されたマニュアルの見方 vii
IP 設定 詳細編
IP 設定の確認 2-9
 Windows XP/2000 の場合 2-9
 Windows Me/98SE の場合 2-10
 Macintosh (Mac OS 9 以前) の場合 2-12
 Macintosh (Mac OS X 以降) の場合 2-11
IP 電話設定 (NAT ルータ) 詳細編
IP 電話設定 (ブリッジ) 詳細編
IP 電話の使用法 3-11
IP 電話自動設定パラメータ 詳細編
LAN ケーブル 1-1, 1-6
LAN 設定 詳細編
LAN ポート 1-3
LAN ランプ 1-2
NAT テーブル 詳細編
NAT テーブル消去 詳細編
NAT ルータモード 詳細編
PPP ランプ 1-2
PPPoE 切断/接続 詳細編
Ping テスト 詳細編
TCP/IP の設定 2-1
 Windows XP の場合 2-2
 Windows 2000 の場合 2-4
 Windows Me/98SE の場合 2-6
 Macintosh の場合 (Mac OS 9 以前) 2-8

 Macintosh の場合 (Mac OS X 以降) 2-7
UPnP 設定 詳細編
UPnP ログ 詳細編
UPnP コントロールポイント (CP) テーブル
 詳細編
UPnP NAT 設定情報 詳細編
UPnP NAT 情報消去 詳細編
VoIP ランプ 1-2
VPN を使用する 詳細編
Web 設定 詳細編

【あ】～【お】

アクセス制限設定 (NAT ルータ) 詳細編
アクセス制限設定 (ブリッジ) 詳細編
アース端子 1-3
アラームランプ 1-2
インターネットへの接続方法 3-3
インタフェース 4-13

【か】～【こ】

外部にサーバ (Web、FTP) を公開する
 詳細編
各種機能と設定項目 詳細編
機器状態・ログ 3-15, 詳細編
基本設定 (NAT ルータ) 詳細編
基本設定 (ブリッジ) 詳細編
故障かなと思ったら 4-1

【さ】～【そ】

再起動 詳細編
仕様一覧 4-12
初期設定起動スイッチ 1-3
初期化方法 4-7
初期設定内容一覧 詳細編
初期設定での起動方法 4-7, 詳細編
時刻設定 詳細編
自動アップデート 4-8

SPI (ステートフル・パケット・インスペクション設定)	詳細編
スタティックルーティング設定 (NAT ルータ)	詳細編
スタティックルーティング設定 (ブリッジ)	詳細編
静的 NAT 設定	詳細編
静的 IP マスカレード設定	詳細編
セキュリティログ	詳細編
接続	1-6
接続先設定 (NAT ルータ)	詳細編
接続先設定 (ブリッジ)	詳細編
設置	1-5
設定例	詳細編
設定の初期化	詳細編
設定の保存・復元	詳細編

〔た〕～〔と〕

電源アダプタコード端子	1-3
電源ランプ	1-2
電話回線ポート	1-3
電話機ポート	1-3
取扱説明書の構成 (本書 CD-ROM)	vii
取扱説明書 (詳細編) 目次	viii

〔な〕～〔の〕

ネットワークゲームをする	詳細編
--------------------	-----

〔は〕～〔ほ〕

バージョンアップ	詳細編
バージョン情報	詳細編
パケットフィルタ設定	詳細編
パスワード	3-1
ブリッジモード	詳細編
ブリッジ学習テーブル	詳細編
フレッツ・コミュニケーションでの利用方法	詳細編
フレッツ・スクウェアへの接続方法	3-6
フレッツ・スクウェアに接続する	詳細編
プロトコルフィルタ	詳細編
複数固定 IP サービスを利用する	詳細編
保守サービスのご案内	4-21
本商品の本体前面ランプの確認手順	4-1

〔ま〕～〔も〕

〔や〕～〔よ〕

ユーザー名	3-1
用語集	4-14, 詳細編

〔ら〕～〔ろ〕

ログインパスワードの設定	詳細編
--------------------	-----

〔わ〕

4-8 保守サービスのご案内

- 保証について
保証期間（1年間）中の故障につきましては「保証書」の記載に基づき当社が無償で修理いたしますので「保証書」は大切に保管してください。
（詳しくは「保証書」の無償修理規定をご覧ください。）
- 保守サービスについて
保証期間後においても、引き続き安心してご利用いただける「定額保守サービス」と、故障修理のつど料金を頂く「実費保守サービス」があります。当社では安心して商品をご利用いただける定額保守サービスをお勧めしています。

保守サービスの種類は

定額 保守サービス	● 毎月一定の料金をお支払いいただき、故障時には当社が無料で修理を行うサービスです。
実費 保守サービス	● 修理に要した費用を頂きます。 （修理費として、お客様宅へおうかがいするための費用および修理に要する技術的費用・部品代を頂きます。） （故障内容によっては高額になる場合もありますのでご了承ください。） ● 当社のサービス取扱所まで商品をお持ちいただいた場合は、お客様宅へおうかがいするための費用が不要になります。

- 故障の場合は以下にご連絡ください。
 - ・ N T T 西日本エリア（東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区）の方は、0120-248995
- 補修用部品の保有期間について
本商品の補修用性能部品（製品の性能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後、7年間保有しています。
- 廃棄方法について
本商品を廃棄する時は、地方自治体の条例に従って処理してください。詳しくは各地方自治体にお問い合わせください。
- 廃棄（または譲渡、返却）される場合の留意事項
本商品は、お客様固有のデータを登録または保持可能な商品です。商品内のデータ流出などの不測の損害などを回避するために、本商品を廃棄（または譲渡、返却）される際には、商品内に登録または保持されたデータを「4-2-1 初期設定での起動方法」（ p. 4-7）を元に消去くださいますようお願いいたします。

MEMO

MEMO

MEMO

この取扱説明書は、森林資源保護のため、再生紙を使用しています。

当社ホームページでは、各種商品の最新の情報やバージョンアップサービスなどを提供しています。本商品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧いただくことをお勧めします。

当社ホームページ : <http://www.ntt-west.co.jp/kiki/>

使い方などでご不明の点がございましたら、NTT通信機器お取扱相談センターへお気軽にご相談ください。

NTT通信機器お取扱相談センター : 0120-109217
トークニイーナ
電話番号をお間違えにならないように、ご注意願います。



© 2003 N T T E A S T ・ N T T W E S T
本 2513-1 (2003.12)
ADSL モデム SV2 トリセツ